

活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

令和7年 1月		令和7年 2月		令和7年 3月	
日	曜	活動予定	日	曜	活動予定
1	水	元日	1	土	
2	木		2	日	
3	金		3	月	
4	土		4	火	全国役員大会 実行委員会
5	日		5	水	
6	月		6	木	資産活用委員会 積水部会推進会議 資産活用委員会 積水部会特別研修会
7	火		7	金	
8	水		8	土	
9	木	租税判例研究会	9	日	
10	金	中小企業支援委員会	10	月	秋季大学実行委員会
11	土	ニューメンバーズ・サービス委員会 ウィンターセミナー	11	火	建国記念の日
12	日	ウィンターセミナー	12	水	
13	月	成人の日	13	木	
14	火		14	金	
15	水	企業防衛制度推進委員会	15	土	
16	木		16	日	
17	金		17	月	
18	土		18	火	
19	日		19	水	正副会長会
20	月	正副会長会	20	木	システム委員会
21	火	帯広支部例会・情報交換会・新年交礼会	21	金	春分の日
22	水		22	土	
23	木		23	日	天皇誕生日
24	金	小樽支部例会・新年会	24	月	振替休日
25	土		25	火	
26	日		26	水	
27	月		27	木	資産対策研究会
28	火	全国役員大会 渉外・広報委員会	28	金	
29	水	理事会 新春講演会・新年交礼会 全国役員大会 レセプション委員会	29	土	
30	木	共済制度推進委員会	30	日	
31	金		31	月	

※主な行事を掲載しています。日程が変更となることもありますので個別案内をご確認ください。

TKC北海道

かいほう

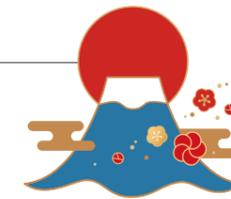
2025.1.1
第258号



Chance, Change and Challenge
TKC HOKKAIDO

TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1大同生命札幌ビル13階
TEL(011)222-8505 FAX(011)222-8622
https://www.tkc.jp/hokkaido



発行責任者/本間 貴久 編集責任者/坂本 文彦 印刷所/株式会社メディアプラネット



TKCニューメンバーズフォーラム2024in高松

CONTENTS

●巻頭言 会計事務所の経営革新を实践して 近未来のあるべき事務所を ～あなたの想いが未来を変える～	02	●ニューメンバーズフォーラム ニューメンバーズフォーラム1日目	36
●秋季大学 第46回TKC北海道会秋季大学in北見 開講式	06	第1分科会	38
会長講演	08	第2分科会	39
特別講演	11	第3分科会	40
懇親会	13	第4分科会	41
ゴルフコンペ	16	懇親会	42
第46回TKC北海道会秋季大学in北見を終えて	17	ニューメンバーズフォーラム2日目	42
●トップ対談開催報告 日高信用金庫×TKC北海道会	18	事務所見学会に参加して	44
●(仮称)プラチナメンバーズクラブが開催されました	19	●第1回「Next Stage Program」研修開催報告	48
●FXクラウド活用セミナー ～業務の生産性と付加価値を高めるFXクラウド活用術～	20	●第2回「Next Stage Program」研修開催報告	49
●書面添付プレミアムセミナー& ニューメンバーズフォローセミナー	21	●令和6年書面添付実践件数	50
●道内金融機関MIS対応状況一覧表	22	●あの人は今	52
●早期経営改善計画策定支援NEWS	23	●シローちゃんの支部例会に行ってみた	53
●モニタリング情報サービスNEWS	24	●北海道会 会務動向	56
●支部例会・研修会だより	26	●新入会員	57
		●編集後記	57
		●活動予定カレンダー	58
		eひと・eはなし	
		●旭川支部/細田 一晴	47

会計事務所の経営革新を実践して 近未来のあるべき事務所を ～あなたの想いが未来を変える～

TKC北海道会副会長

砂原 政広

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の年頭にあたり会員の皆さまに謹んで新年のごあいさつを申し上げます。また、日頃よりTKC北海道会の活動にご理解とご協力をたまわりまして厚くお礼申し上げます。本年もよろしくお願いたします。

さて、私が副会長を拝命いたしまして、早1年半が過ぎようとしています。立場上さまざまな会議等に参加させていただいていますが、日々感じていることを思いつくままに書かせていただきます。

1. 税理士の4大業務を完遂して 中小企業を元気にしよう

TKC全国会では、税理士の4大業務として「税務」「会計」「保証」「経営助言」を掲げました。この4大業務は、仕訳という単一のデータから、TKCシステムと月次巡回監査に支えられ、同一の企業に同時に提供できる点が、税理士の強みの一つだといわれています。この強みを活かして、4大業務を完遂して中小企業を元気にすることが、われわれTKC会計人の使命です。それにより、社会からの絶対の信頼と尊敬を得ることができます。共に使命を果たして中小企業を元気にしましょう。



2. 会計事務所の悩みは55年前と同じ

中小企業の経営環境は物価高、人手不足等引き続き厳しい状況が続いています。特に、人口減少と共に人手不足が深刻化しています。これは会計事務所業界においても同じです。これらにしっかり対応していかなければ存続発展は見込めません。

そして、この変化の激しい時代において、会計事務所の経営課題は55年前と変わっていないことに驚きます。次に記載した内容は、飯塚毅名誉会長が55年前に「会計事務所の悩み」として、『電算機利用による会計事務所の合理化』テキスト(初版:昭和44年2月1日)に記載した内容です。

- ① 関与先の記帳能力が弱いのでその対応策に全く困る。
 - ② 関与先の顧問料がなかなか上げられないので弱った。
 - ③ 職員の手が回らないので、年度末一括決算の関与先がだんだん増えて困る。
 - ④ 税務調査の立ち会いに時間をとられるので、合理化施策を考えている時間がない。
 - ⑤ 職員の低賃金に依存して、今のところは食っていられるが、年々の昇給が重圧で前途が悲観される。
 - ⑥ 低賃金のせいか、募集しても良質の職員が集まらないで困る。
- (以下、省略)

いかがでしょうか。今われわれが抱えている課題と同じだと思いませんか。われわれ自身が進化していないのか、経営能力がないのか、はたまた、構造的なものなのか。

TKC全国会では、これらの課題を現代に置き換えて、次のような表現になるとしています。

- ① 関与先が会計データを入力できない(しない)ので、自計化、クラウド化が進まない。
- ② インボイス制度開始にあたり、値上げを言い出せない。
- ③ 事務所の人手不足で月次巡回監査が実践できない。
- ④ 日常業務に追われ、事務所のOMS活用や関与先のクラウド化が進まない。
- ⑤ 「一人当たりの限界利益額」が低く、とても昇給できない。パート・アルバイトに依存するしかない。
- ⑥ 求人募集を出しても応募がこないし、応募があっても採用レベルではない。

これらの課題にしっかり対応するためには、これからは、業務改善レベルではなく、圧倒的な付加価値の向上と生産性の向上により、経営革新を実践しなければ到底解決できない課題だと思います。共に高付加価値経営を実践しましょう。

3. 会計事務所の経営革新

さて、税理士の4大業務を完遂するためには、われわれ会計事務所も経営革新を行わなければなりません。従来の延長線上では、品質の高い状態で4大業務を関与先に提供することは難しいのではないのでしょうか。まずは、われわれ会計事務所が経営革新を実践して、関与先に見本を示して関与先の経営革新を支援していかなければならないと思います。

ところで、会計事務所の経営革新とはどういうことでしょうか。

私の個人的な見解としては、圧倒的な生産性の向上による高付加価値経営と、同時に、業務品質の圧倒的な向上だと思えます。それにより、全従業員の物心両面の幸福をもたらすことができ、従業員がワクワクと働き甲斐をもって仕事ができ、関与先から感謝され、そして社会からの絶対の信頼と尊敬を得ることができる状況を作ることだと思います。

TKC全国会では、「TKCシステムの徹底活用」と「月次巡回監査の断行」により、税理士の4大業務「税務」「会計」「保証」「経営助言」を同一企業に、同時に提供できる事務所体制を構築することと定義しています。

高付加価値経営を実践しなければ、いい人材を採用することも育成することもできません。どんな企業も人が全てです。有能な学生が率先して入社していただけるような環境整備を行っていかねばなりません。そのためには、給与面、待遇面、福利厚生面の整備も必要で、より成長できる環境も整

備しなければなりません。そして、仕事のやりがいを実感できる環境も作っていかねばなりません。

令和4年度の上場企業の平均年収は約640万円、税理士事務所のそれは約390万円といわれています。学生がどちらの企業を選ぶかは問わずもがなです。給料がすべてではないですが、学生に選ばれる環境を整備していかねばなりません。

先日、TKCの「年度重要テーマ研修2024」を受講しました。受講された会員も多いと思いますが、私は、会員講師の収益力の高さに驚きました。特に「一人当たりの売上高」「一人当たり人件費」は上場企業並みでした。講師はTKC会員のトップランナーですので、ある意味当然かもしれませんが、自分の事務所の至らなさを痛感すると共に、今後の収益力UPを誓いました。

そして、「10年後も生き残る事務所経営の秘訣」として、事務所経営の秘訣を惜しげもなくご披露いただきました。これは正に、自利利他という理念を共有しているTKC会員だからこそなせる業だと改めて実感しました。トップランナーの事務所経営を取り入れて高付加価値経営を実践し、若くて有能な学生もうらやむ、カッコいい税理士になりましょう。

4. すべての基本は月次巡回監査

さて、TKC最大の商品は何でしょうか。それは、月次巡回監査にあると思います。時代と共に、現場に行かなくても事前確認をすることができるようになりました。しかし、事前確認をいかに誠実に、時間をかけて行ったとしても、関与先経営者からは「何もしていない」としか映らないと思います。

やはり現場で現物を確認し、経営者と毎月面談をすることにより、「経営者の心にベルトをかける」こともできます。そして、何よりも高度な信頼関係を構築することができます。

また、月次巡回監査が行われていない試算表で、その他の業務である税務・保証・経営助言を行ったとしても意味のないものになってしまいます。

月次巡回監査を断行して「会計で会社を強くする」ことを経営者に啓蒙していきましょう。

5. 巡回監査の標準業務として リスクマネジメントを実践しよう

月次巡回監査を実施することは、一種の税務・会計面でのリスクマネジメントとすることができます。月次巡回監査の標準業務として、経営助言である企業防衛・リスクマネジメント・三共済も一緒に実践しましょう。

特に、リスクマネジメント業務については、実践されていない会員が多いと感じています。自然災害や高額賠償事例が多発している現状において、リスクマネジメントを実践することが関与先経営者からは期待されています。リスクマネジメントに関するさまざまな情報がProFIT右側バナーに掲載されていますので、ぜひご覧いただき実践していただければと思います。

そして、決算時に生命保険契約の一覧表と共に、損害保険契約の一覧表も作成しましょう。それだけでも、立派な経営助言です。

先日、弊事務所の新規関与先で損害保険の証券を確認したところ、労災保険の上乗せ保険である業務災害保険が、商工会議所プランではないことが判明しました。ご存知の通り商工会議所プランは保険料が約50%引になりますので、見直しにより保険料を削減することができました。提携3損保会社は日本を代表するメガ損保会社ですので、情報量も莫大です。それらの情報を関与先に提供して、リスクマネジメントの実践を図っていただき、大事な関与先を守っていただければと思います。

6. フロンティアプロジェクトを 盛り上げましょう

TKC北海道会の新しいプロジェクトである「フロンティアプロジェクト」が始まりました。このプロジェクトは、TKC北海道会の税理士業務レベルを上昇させ、税理士の社会的役割を北海道から発信していくためのものです。

各委員会では、それぞれ目標設定を行っていますが、それぞれの目標は単独で数値UPするのではなく、自計化→巡回監査→継続MAS→書面添付とすべてが連携して達成できるものです。これらの項目を一連の流れで達成できるように目標の「見える化」を行い、TKC北海道会の税理士事務所の標準業務のレベルUPにより、社会的信用が上がることを目的としています。

ビンゴ形式により抽選券がGETできるようになっていますので、楽しみながら実践していただければ幸いです。

今年も、税理士の4大業務を完遂し、日本の中小企業を元気にするためにご協力いただきたく、よろしく願い申し上げます。

最後に、飯塚毅名誉会長の言葉で終わりたいと思います。

「世のため人のため、つまり会計人なら職員や関与先、社会のために精進努力の生活に徹すること、それが、そのまま自利すなわち本当の自分の喜びであり幸福なのだ。そのような心境に立ち至り、かかる本物の人物となって社会と大衆に奉仕することができれば、人は心からの生き甲斐を感じるはずである」

秋季
大学

第46回TKC北海道会秋季大学in北見 開講式

10月3日(木)、ホテルベルクラシック北見の3階クリスタルホール・ダイヤモンドホールにおいて、メインテーマ「新時代への挑戦！」サブテーマに「伝えよう！守るべきTKC魂」と題して、第46回TKC北海道会秋季大学in北見が開催されました。

冒頭に飯塚毅名誉会長の動画が流れた後、菅原雅之会員の司会の下、開講式が始まりました。

まず、本間貴久会長より、今回260名を超える会員、職員、提携・協定企業の皆さまにご出席いただき、盛大に開催されることとなり、主催された北見支

部の会員にも感謝の意が伝えられました。

そして、「今回のテーマ『新時代への挑戦！伝えよう！守るべきTKC魂』は、私が考える『守りぬくこと』『伝え続けること』『新たに挑戦すること』を盛り込んで取り入れられました。10年前にはバラバラだった北見支部が一致団結できたのも、TKC理念を持った集団で、信頼され期待される組織であることの表れだと思います。会員・職員すべての力で社会から求められるTKC会計事務所を築いていきましょう」とあいさつをいただきました。



司会を務めた菅原雅之会員



本間貴久会長



渡邊直喜実行委員長



北海道税理士会田中聡副会長

続いて、主催者を代表して渡邊直喜実行委員長より、「秋季大学が46回目にして初めて北見支部で開催されます。ここまでの道のりは厳しいものでした。このようにたくさんの参加者の下、盛大に開催できたことを皆さまに感謝申し上げます」そして、「秋季大学は学びの場であり、会長講演・特別講演を予定しておりますので、TKC会計人として熱いものを感じていただきたいと思います」とあいさつされました。

続きまして、ご来賓を代表して北海道税理士会田中聡副会長より、開会にあたってのお祝いの言葉に続き、北海道税理士会として取り組んでいるデジタル化フォーラムの案内、札幌国税局との協議会の内容などについてのあいさつがありました。

その後、北海道税理士会や株式会社TKC、その他多くの方々からの祝電が披露され、開講式が終了しました。

(広報委員会 舟橋 馨)



第46回TKC北海道会秋季大学in北見 会場
ホテルベルクラシック北見



会計事務所の経営革新 -月次巡回監査がすべての基本-

会長講演の冒頭、坂本孝司TKC全国会会長は「関与先や金融機関等と“顔が見える関係”をいかに築くかが、とても重要だ」と切り出し、「本音で話し合える関係になってこそ、関与先の黒字決算と成長発展、地域社会の蘇生が実現し、誇りある仕事をしているとの自負と自覚につながる」と強調した。

さらに「世界の三大専門家は、①医者、②弁護士、③会計士であるが、この内、職業会計人（公認会計士・税理士）の仕事内容については、一般的には具体的なイメージがない。私は、日本の税理士はこういう仕事をしているんだ、というイメージが、広く国民全体に認知されるような状況を作りたいと思い、4大業務のマトリックス図を提唱している」と述べた。

ここで、会場内の大型スクリーンに4大業務のマトリックス図を提示し、「税理士業務の本質は、4大業務[税務・会計・保証・経営助言]の新結合（イノベーション）と同時提供できる、唯一の専門家であること。このことを改めて認識し、業務に取り組んでいただきたい、というのが本日のテーマであり、結論だ」と、早々に会長講演の締め括りを語った。

その上で「4大業務は、互いに重なり合っている。例えば、税務と会計は確定決算主義に基づき、税務と保証は書面添付であり、会計と経営助言は正に“会計で会社を強くする”ことにほかならない」

「そして、その中央に4大業務を支える基盤として、会計帳簿がある。正しい会計帳簿を完全に確保し、



坂本孝司TKC全国会会長

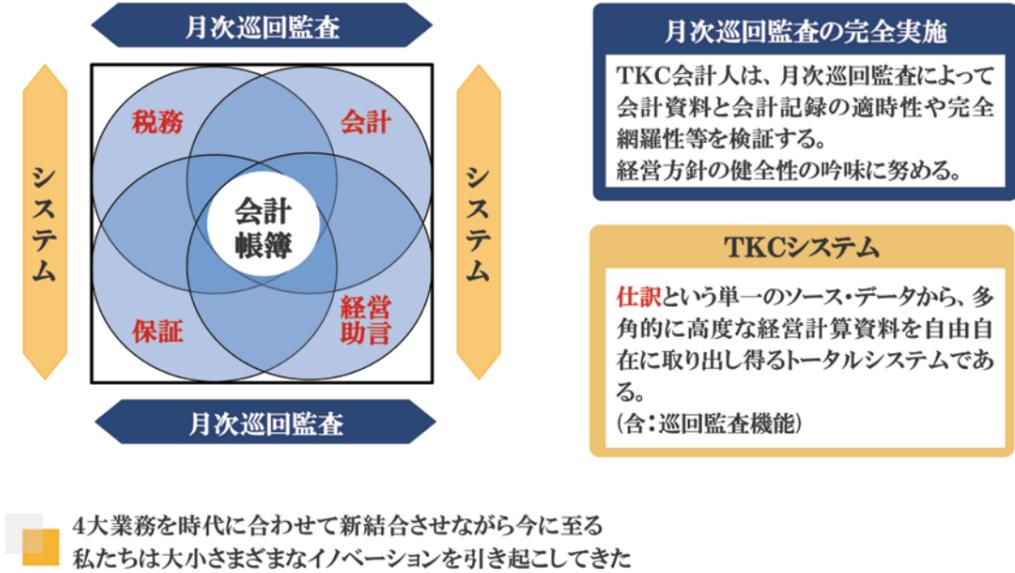
実現するのが、月次巡回監査。だからこそ、巡回監査は絶対に無理しても断行すべきものであり、損得勘定やパフォーマンス等で判断するものではない。TKC会計人であれば、基本中の基本であり、永遠に堅持すべき崇高なる業務であることを肝に銘じてほしい」と強く訴えた。

続いて、坂本会長は、フランスのルイ14世時代の破産防止法に触れながら会計帳簿の重要性を指摘した後、昨今の雇用環境やデジタル化の進展、法改正などを踏まえつつ、簿記・会計への軽視傾向があり、TKC全国会においても翌月巡回監査率が継続的に低下している状況を示し、「巡回監査率の低下は、税理士業務（4大業務）の崩壊を招く。税理士の社会的評価が地に落ちる」とし、危機感を表した。

II 会計事務所の経営革新 4. 税理士業務の本質



《新結合 = 4大業務[税務・会計・保証・経営助言] = 同時提供》



4大業務のマトリックス図

そこで、会計事務所の経営革新として、飯塚毅名誉会長のTKC全国会の結成目的や「不易流行」に言及し、再び税理士の4大業務について、個別に一つ一つポイントを解説した。

【税務】

税理士法に触れながら「税務に関する専門家として、独立した公正な立場で、租税正義の実現を図るのが税理士の使命。つまり“一円の払い過ぎた税金はなく、一円の払い足らざる税金なかるべし”を果たすことだ。その意味で、税理士は租税正義の守護者であり、税理士業務は、本来、法律業務であることを改めて確認してほしい」

【会計】

「税理士業務が法律業務であることを認識すれば、簿記(帳簿)の法的な証拠力にもっと注目してほしい。商業簿記は自己申告であるにもかかわらず、例外的に正規の簿記だけは強い証拠力を享受する」

「だからこそ、会計帳簿の適正性・正確性・適時性を確保するために、巡回監査で会計事実の真実性・実在性・網羅性を確かめることは、すべての取引の事実認定の作業であり、取引(=経済事実)を見える化し、会社を守り、会計で会社を強くする。“仕訳”が大事なのだ」

【保証】

「保証とは“お墨付けを与える”ことにほかならない。税理士が専門家として、第三者の視点(独立した公正な立場)で、会計帳簿や申告書等に信頼性を付与することである。その税務の真実性を守護するのが、税理士法第33条の2第1項に基づく書面添付。巡回監査が実施された上での書面添付は、極めて優れて適法性・証拠力・証明力を保証する。このTKC方式の書面添付こそが、新結合(イノベーション)である」

「そして、税務監査証明=書面添付が、新時代の中小企業金融のカギとなる。銀行は、企業

を外見からしか知りえない。TKC会計人は、月次巡回監査を通して企業の内容と実態の詳細を知悉(ちしつ)した上で、会計帳簿と申告書を作成し書面添付を行っている。銀行にとって、巡回監査をせず申告書だけを作成している税理士と、TKC会計人の書面添付では、おのずから信頼性が違うのは当然だ。だからこそ、“顔が見える関係”が大事。単なる顔見知りではだめ。本音で話し合える関係であってこそ、その企業を守り、発展させていくことができる]

[経営助言]

「“会計で会社を強くする”ことが経営助言業務。巡回監査を行い、会計・税務・保証の業務を行う税理士が、同時にその企業の経営助言の任に当たることが最も適していることはいうまでもない]

[したがって、税理士の4大業務を同時に提供

していくには、月次巡回監査がすべての基本であることを深く強く肝に銘じてほしい。覚悟をもって臨んでほしい]

最後に坂本会長は、ご自身の体験を披露しながら、「クラウドやシステムを活用して事前確認業務は積極的に行うべきである。しかし、巡回監査は“現場”に出向いて行わなければならない。現場での現物確認や質問等の監査手法を駆使して、“貴社の個々の取引は詳細に監査し把握している”との姿勢を堅持し、“経営者の心にベルトを掛ける”必要がある。

巡回監査の成否、ひいては“会計で会社を強くする”ことは、関与先経営者の意識改革に係っているからだ。月次巡回監査で毎月顔を合わせることで、高度な信頼関係が醸成・維持される。つまり、経営者と“顔が見える関係”をいかに構築していくかが重要なのである」と結んだ。

(広報委員会 岡崎 正毅)



会長講演の様子

秋季大学 特別講演

開講式、会長講演の後はホテル黒部に会場を移し、「市町村の使命」というテーマで遠軽町佐々木修一町長の特別講演がありました。

佐々木町長は北海学園大学を卒業してから一度民間企業を経て遠軽町役場に入職、2009年に遠軽町長に就任、今年で15年目を迎えます。学生時代は経営者になりたかったそうで、町の運営にも経営感覚が必要と感じているとのことでした。

合併の経緯

現在の遠軽町は、生田原町、丸瀬布町、白滝村、遠軽町の4町村合併により平成17年10月に新たに誕生しました。18,000人が住む全国で8番目に面積が大きい町です。

当時の遠軽町をはじめ遠軽地区の7町村は財政危機の中、国の主導で平成11年から全国的に進められた市町村合併の大きな流れを受けて、オホーツク4分割・3分割論の合併に向けて議論が展開されました。町村が合併をすると役場や議会、職員の数が減り、職を失う人が出るため合併をしたくないというさまざまな論争が起こりましたが、紆余曲折を経て旧4町村が協議を継続し合併にいたりました。合併により人件費が減ったことや、合併に伴う交付税の優遇措置や財政上有利な地方債である合併特例債も活用し、財政破綻からの再建を果たすことができている。

合併後の面積拡大に伴い住民サービスの平等性確保の必要から起こる財政需要に備えるべく、遠軽町が発案者となる北海道合併市町連携会議を発足し、国に対して制度改革を要望。結果として、毎年度7億円程が従来の交付額に加算されることになりました。



遠軽町佐々木修一町長

市町村の使命

国家の中の北海道の役割として、食糧供給基地、エネルギー供給基地、国土防衛の役割があります。その中で遠軽町は、広大な面積で人口が少ない土地を価値であると考え、食糧供給基地として畑作や酪農、国土防衛として陸上自衛隊の第25普通科連隊が駐屯し、広い訓練場で日々訓練に励むことで使命を果たしています。

政策としては、1次産業の従事者の生活を支えるために、医療と教育に力を入れています。

国の制度変更により医療従事者が病院からいなくなり、かつて年間350人いた出生数が一時0人になったこともあります。遠軽厚生病院を作り、医者を探すため全国的に広告を出して医者に来てもらい、出生数が戻ってきました。

また、中学校と高校の連携がうまくいかず、中学生が札幌の高校に進学してしまい生徒数が減少しクラスの数が減りました。大学に進学できるレベルの高校にしていきたいと考えており、高校のレベルを維持向上させるために特別進学クラスや、東大塾を開設しました。部活動支援も行っており、吹奏楽部や、野球部、ラグビー部の活動が活発です。

他の市町村からの進学も増やすため寮や下宿を建てており、遠軽高校へは年間6000万円拠出しています。下宿生は平成28年とくらべ4倍に増えています。人口減少に伴う生徒の減少は今後も課題となります。

自衛隊員の家族が医療・教育を支えており、病院職員、高校生の1割が自衛官の家族です。駐屯地があることで医療、教育が支えられ、1次産業を支えることで遠軽町の使命を果たしています。

持続可能な町づくりへ

今後、JR石北本線の存続が危ぶまれており、北見への便が減る見込みです。中核都市北見が沈むと遠軽もその流れに引っ張られてしまう。国の制度変更は地方に与える影響が大変大きいので国はきちんと地方のことも考えた上で政治をして欲しいと思います。

もう合併に逃げることはできません。行政改革で動きやすい体制を作るには、遠軽町の使命(価値)を理解し、何を我慢し、何を守り創るのか。伝え続けることが大切です。

TKC会員の使命(価値)

今回の秋季大学のテーマでもある、**新時代への挑戦—伝えよう守るべきTKC魂—**

佐々木町長は、使命(価値)を理解し、守り創る(挑戦する)、伝え続けることの覚悟をわれわれに伝えていただきました。TKCシステムを活用し、地域経済を支える中小企業を会計の力で強くすることがわれわれの使命(価値)であり、TKC会計人は日本経済を支える一翼を担っていることを使命として、挑戦し続けなければいけないことを教えていただいた講演となりました。

(広報委員会 佐藤 博嗣)



特別講演の様子

秋季大学 懇親会

懇親会は、ホテルベルクラシック北見3階にて、18時から開催されました。

司会は札幌西支部の林田敬二会員と武田由香さんが務められ、甲賀伸彦北海道会副会長による開会あいさつ、辻直孝北見市長、大同生命保険株式会社の工藤稔代表取締役会長による来賓あいさつ、北見信用金庫の久島英明専務理事による乾杯の発声で祝宴へと移りました。

カニなどの海産物をはじめとしたコース料理を堪能しつつ、余興として、「TKC北海道会 秋季大学開催への道」動画鑑賞後、遠軽町、網走市、紋別市、北見市のオホーツク特産品抽選会が行われ、さけるタイプのチーズ、和牛おつまみセット、ローストビーフ、冷凍じみ、鮭・いくら、高級一夜干しセット、紋別アヒージョ、天然紅鮭スモークサーモン半身、

燻製セット、オホーツクビールセット、帆立貝柱、北見ワインセット、テーブル毎に白滝じゃが、北見産玉ねぎといった数々の賞品により盛況を博しました。



最後に、来期令和7年10月3日に函館で開催予定の秋季大学のご案内鑑賞後、木村聡北海道会副会長より中締めあいさつをいただき、一丁締めにて閉会となりました。

その後、同ホテル1階にて2次会が行われ、齊藤将基センター長より旭川センターから福島センターへ異動のあいさつをいただき、同ホテル開催の懇親会は終了となりました。齊藤センター長、北見支部の会員の皆さまお疲れさまでした。

(広報委員会 谷口 卓弥)



甲賀伸彦北海道会副会長



辻直孝北見市長



大同生命保険株式会社 工藤稔代表取締役会長



北見信用金庫 久島英明専務理事



懇親会全景



焼印贈呈の様子



函館支部あいさつの様子



抽選会の景品のひとつ、道産和牛おつまみセット

抽選会の様子



木村聡北海道会副会長



司会を務めた林田敬二会員(左)と、武田由香さん(右)



抽選会で坂本孝司TKC全国会会長が当選!



川江利一副実行委員長

秋季大学の翌日10月4日に、北見ハーブヒルゴルフクラブにおいて秋季大学ゴルフコンペが開催されました。今回の大会には会員が21名、提携・協定企業と会員職員から13名と、計34名の参加がありました。

当日は早朝7時スタートであり、天気予報は雨、その通り当日の天気は雨。中止ではないかと思いましたが、何とか開催にこぎつけました。

北見ハーブヒルゴルフクラブは、懇親会後のお店での情報収集では、「北見でも難コース」と聞いていたので、「どうなるものか。初コース、まだ4年目、どうなるものか」と心配していましたが、前半53後半57の110で無事に終えることができました。雨の中で、私のベストグロス3位の結果でありまして、満足のいく結果になりました。

前半戦終了時点で、カートで宮下直樹総務委員長に会いまして、何と、1打差しか変わりがなくて、「不正を行っている」と疑いをかけられました(笑)。また、機会がありましたら、今度は天気の良い時にぜひもう一度挑戦したいと思います。

ラウンド後は、コンペルームでの表彰式が行われ、南都正弘秋季大学親睦ゴルフ大会実行委員長による司会で、ドラコン、ドラタン、ニアピン、飛び賞、各順位賞の発表、提携協定企業やTKC北海道会などから賞品の提供もあり、大いに盛り上がりました。

栄ある優勝を飾ったのは、前半47後半46ハンディキャップ19.2、ネット73.8、はるばる四国から来ていただいたTKC全国会のリスマネ委員長の中嶋司会員でした。

また、ベストグロスに苦小牧支部の駒井桂何会員、前半41後半45ハンディキャップ10.8、ネット75.2の4位でした。ちなみに私は18位と微妙な順位でありましたので、飛び賞はもらえませんでした。

会員・提携企業から他にも多大なる景品をいただいたのですが、表彰式の後の特別賞のじゃんけん大会に関しても、惜しくも負けてしまい、特別賞はいただけませんでした。

あいにくの天候でしたが、提携協定企業の皆さまとの親睦も深めることができ、第46回秋季大学ゴルフコンペは無事閉会を迎えました。

(広報委員会 小林 史郎)



秋季大学が終わってから時間が経ち、懐かしく感じるようなこの頃です。思い起こせば、令和6年の秋季大学開催の決定は、令和3年に私が支部長を仰せつかった後に決まったと思います。

北見支部は、過去45年も断り続けてきた歴史と、小規模で人数が少ない支部で本当にできるのか他支部との共同開催ならできるのではということ、決定時はコロナ禍でそもそも秋季大学はできるのかなど不安要素がたくさんありました。ですので、私にとって今回の開催は、3年かけた秋季大学と思っております。

キックオフでは、私が秋季大学はお祭りだと全然違う方向を向いており、皆さまに秋季大学とは学びの場であると教えていただき軌道修正していただきました。自分自身初めてとはいえ、恥ずかしく思いました。

人数が少ない中でできること、またTKCらしさとはなんだろうと考え抜きました。ディスカッション形式は無理だと考え、会長講演と特別講演で講師のお話を聞くという従来のスタイルにさせていただきました。

懇親会の余興も人数がいないとできません。そこでわれわれは、よく動画を見る機会が多いなど、事前に作成し見ていただければ、当日の負担が減るなど考えました。

動画の撮影は本間貴久会長、宮下直樹総務委員長、各支部長はじめ多くの方々に、長期にわたってご協力いただきました。道東テレビさんのプロの仕事も垣間見、学ぶことも多かったと思います。

また、次期開催地の函館支部の総会に参加させていただき、北見支部とは距離的に遠い函館の会員の方々との交流は楽しかったです。

北見支部としましては、キックオフから一年間、意見をぶつけ合い、紋別在住ですぐに動けない私に代わり、北見支部の会員の方々に動いていただいたり、各担当者が自分の仕事を全うし、紆余曲折を経ましたが、支部として結束できたのかなと思います。

前夜祭、当日、翌日の雨の中のゴルフと3日間はあるという間に過ぎていきました。今回の秋季大学が成功したのかどうかは私にはわかりませんが、皆さまの記憶に残る回にはなったのではないかなと思っております。

改めまして、今回の秋季大学は皆さまの協力があって無事に開催することができたと思っております。私も、この一年、成長させていただきました。感謝しますと共に、この秋季大学の経験は、人生の思い出として心の奥にそっとしまっておきたいと思っております。

(北見支部長 渡邊 直喜)

10月7日、日高信用金庫本店にて「日高信用金庫とTKC北海道会」とのトップ対談が開催されました。



【トップ対談 出席者】
(敬称略)

日高信用金庫
理事長 大沼 孝司
常務理事 原口 広
融資部審査課
管理課課長 田外 晃博

TKC北海道会
会長 本間 貴久
中小企業支援委員会
委員長 湯谷 和彦
理事 小川 裕也

1. 会長・理事長の挨拶

【本間貴久会長】

TKCモニタリング情報サービス(以下、MIS)の覚書締結金融機関とトップ対談をさせていただいています。私たちはMISだけのつながりではなく「金融機関と一緒に何かできないか」ということを常に考えています。今、力を入れているのが、行職員向け研修会の開催です。金融機関の若い職員にどのように決算書ができるのか知ってもらいたい、できあがった決算書は目にしているが、決算書ができあがる過程でわれわれTKC会員事務所が何をしているかは見えていないと思います。行職員向け研修会は後ほどお話しさせていただきます。また地域密着という点では地元企業を守るというところを意識しています。地元の金融機関と一緒に、企業を守っていく取り組みができればと思います。本日はよろしくお願いいたします。

【大沼孝司理事長】

私たちは伴走型支援に力を入れております。リレーションシップは極めて重要な要素だと考えております。税理士の方々のお力添えをいただきながら顧客支援にあたっていきたくと思っています。本日はよろしくお願いいたします。

2. (トップ対談やりとり、一部抜粋)

- ①原口常務理事：TKC会員事務所が作成する決算書は非常に信頼しているが、この地域にTKC会員が少ない。
- ②大沼理事長：事業継承には余裕を持った期間が必要だが、関与先の顧問税理士に後回しにされてしまう。また、若手の職員は決算書を紐解くことが昔のようにできない。
- ③湯谷委員長：行職員研修をぜひご検討いただきたい。地域的にはTKC苫小牧支部が支援するので、遠慮しないで欲しい。支部例会にも参加いただきたい。
- ④大沼理事長：行職員研修はぜひとも検討したい。
- ⑤小川理事：相談ごとがあれば何でも言って欲しい。できるだけ支援したい。

3. トップ対談での検討事項

1. 行職員向け研修会の開催に合意 【開催時期は担当者と調整】
2. TKC苫小牧支部例会への参加の検討(顔の見える関係へ)

(仮称)プラチナメンバーズクラブが 開催されました

11月15日(金)に札幌グランドホテルにて「(仮称)プラチナメンバーズクラブ」が開催されました。「(仮称)プラチナメンバーズクラブ」は65歳以上のTKC会員による任意の会です。発起人4名(佐々木忠則会員[代表]、井山等会員、木村聡会員、薄井タカ子会員)の呼びかけにより、22名が集まり懇親を深めました。

開始時間が近づくにつれ「〇〇先生お久しぶり!」「いやぁ懐かしいねえ」の声があちらこちらから聞こえてきました。

発起人代表である佐々木会員の乾杯の発声後、一人ひとり全員が壇上で近況を伝え、終了予定時間を大幅に超過して大変盛り上がりました。中締めでは金坂和正会員より「次回までみんな元気であること、支部例会にも出席しよう」とお声がけいただきました。

(北海道会事務局長 藤木 竜也)

今回出席できなかった皆さまには、次回お会いできますことを楽しみにしております。
発起人より



TKC北海道会システム委員会主催 FXクラウド活用セミナー

～業務の生産性と付加価値を高めるFXクラウド活用術～

開催日：10月28日（月）13：30～16：00 開催場所：TKC北海道会研修センター／Web

TKC北海道会システム委員会主催のFXクラウド活用セミナーが開催され、現地参加24名・Web64名が参加しました。講師に、TKC東北会宮城県支部システム委員長の吉成慶祐会員をお招きし、FXクラウドシリーズの提案手法と活用ノウハウについてお話しいただきました。

I. はじめに・記帳代行の課題

「FXクラウドシリーズフル活用で事務所全員で高い山を目指しませんか」

低い山と高い山では登る難易度や見える景色が異なります。関与先へ高付加価値サービスを提供する（高い山に登る）ためには、新制度への対応支援や情報共有が重要となります。記帳代行業務の課題は、インボイス・電帳法対応、税制改正対応による業務量の大幅な増加です。今後はDXの普及により、記帳代行業務の代替可能性が高くなることも課題です。



TKC東北会宮城県支部
システム委員長
吉成 慶祐 会員

II. クラウドのすすめ

①制度への完全対応・業務量の分散

インボイス制度対応では、事業者登録番号の登録やチェック機能の充実、複数人での対応・サポートが可能となります。電子帳簿保存法の対応では、証憑保存機能を活用し、書類の管理やチェックの効率化が実現できます。

②DX化の実現

事前確認機能やTKCチャットでの情報共有、他社システムとの仕訳連携により、生産性が向上します。SA版と比較して開発スピードが速く、新機能の搭載が期待できます。（例）給与計算機能、TKCFintechサービス

③事務所の品質・付加価値の向上

事前確認をすることで、巡回監査時の確認時間が減少します。また、まいサポートを利用することで担当者への問い合わせも減ります。つまり、付加価値業務に注力する時間が増えます。導入時の事前設定も所内で行えるため、自計化がしやすい環境になっています。

【税理士法人プラスマネジメント 仙台事務所のクラウド利用率】

2020年のTKC入会時点では関与先件数55件のうち自計化率は12%で困難な状況でしたが、クラウドシリーズの登場により、FXクラウドシリーズの利用率が約7割に増加しました。クラウドシリーズの導入率があがると共に自計化率も上昇しています。

III. FXクラウド導入

★「FXクラウド導入」・「自計化推進」の3つのポイント

巻き込み力→1人でやらないこと。SCGの支援やTKCの研修会への参加。

継続性→小さな成功の積み重ねであり、すぐにシステムのフル活用をしない。継続的に指導する。

覚悟→一時的な問合せの増加やシステムエラーが起こりえる。システムの安売りをせず、決して高くないことを付加価値で示すこと。

※「FXクラウドシリーズ」は記帳代行の便利ツールではない。

【自計化推進難易度】

低：財務エントリ、TKCシステムで記帳代行、紙で伝票作成

中：他社システムで関与先が入力、一部PXのみ利用

高：他社システムで記帳代行、事務所で資料整理

FXクラウドシリーズ導入
のためのオススメツール

1. 取引（振替）	取引クラウドシリーズ - 経理業務の自動化、インボイス連携、業務効率化
2. 取引（FX決済）	取引クラウドシリーズ - 取引先との取引を自動化、業務効率化を実現
3. 業務効率化	取引先との取引に「インボイス」を取り付け、業務効率化を実現
4. 経理業務（TKC）	取引先との取引から自動的に取引先への請求書を作成・送信できる
5. TKCのサポート	システムの問題、業務上の問題がすぐに解決できる
6. 経営分析ツール	取引先との取引から自動的に経営分析レポートを作成
7. その他	まいサポート、ヘルプデスク、【本誌】等

★まとめ
お客さまとの良い相互関係を築き、システム活用について教えてもらうという経験から、他の関与先へ情報やノウハウの共有が進みました。クラウド化の提案を行った結果、実際にお客さまの需要があったことを実感し、まずは打席に立つことの重要性を再確認することができました。コロナ禍を経て、再度提案を進め、FXクラウドシリーズの導入を通じて事務所のITリテラシー向上と変化を促進し、5年～10年先を見据え、事務所全体でクラウド化を進め高い山へ登りましょう。

大盛況!!



【これから実践すること】（受講者アンケートより）

クラウドシリーズ導入におけるオススメツールを積極的に活用していきたいです/記帳代行先も自分でできることを少しずつ増やすようにします/焦らず移行を進めていきます/SA版のサポート終了時期をポイントとし移行へ働きかけます/今は使いにくかもしれませんがまずは使い続けることでクラウドを広められるようにします

TKC北海道会システム委員会

書面添付プレミアムセミナー & ニューメンバーズフォローセミナー

TKC北海道会書面添付推進委員会とニューメンバーズサービス委員会の共同企画として書面添付プレミアムセミナーが開催されました。現地35名、Web17名、総勢52名にご参加いただき、大盛況となりました。事例を基に、グループごとに書面添付の内容をディスカッションし、発表内容を2名の講師より講評いただきました。税務署視点と金融機関視点のポイントを押さえた実践的な研修会となりました。

日時：10月23日（水）13：30～16：00

会場：TKC北海道会研修センター／Web

講師：黒田納規税理士事務所 所長 黒田 納規 会員
株式会社三菱UFJ銀行TKC事業室 稗田 英明 さま

テーマ：実践！質の高い書面添付で税務署＆金融機関からの信頼を勝ち取ろう！

税務署目線の書面添付記載ポイント



講師：黒田 納規 会員

税務署は税務調査を実施する必要があるかという視点で見えています。

- ◆ 「計算し、整理した主な事項」の「区分(どの勘定科目)」について「備考(何の資料)」を基に「事項(どういう確認)」をしたのかを記載しましょう。その際に実際に企業で使われている書類の名称を記載することで信頼度が高まります。
- ◆ 個別の貸倒引当金等税法の定めに従い計上するものは上記事項に加え根拠条文を記載し、法律を確認の上処理を行っているアピールしましょう。



金融機関目線の書面添付記載ポイント



講師：稗田 英明 さま

書面添付を通じたお客さまの実態把握は大変有益です。

- ◆ 金融機関の担当者が企業と面接する際に企業をイメージできる業種や主力商品等の記載があると参考にします。
- ◆ 金融機関は直近決算の増減や利益率等は非常に気にしますので、その理由が記載されていると参考にします。
- ◆ またその企業の強み、弱み、経営方針等がわかると融資の際の参考にします。

TKC北海道会

主催：書面添付推進委員会/共催：ニューメンバーズサービス委員会/後援：札幌東支部・札幌西支部

道内金融機関MIS対応状況一覧表(11月30日現在)

TKC北海道会会員 各位 TKC北海道会 会長 本間 貴久

行	金融機関名	区分	Web BAST 利用	MIS	決算書提供サービス 申込件数	月次試算表提供サービス 申込件数	支店数	1支店あたり 申込件数	貸出件数	貸出件数※に占める MIS割合
1	北海道銀行	地銀	○	○	1,696	226	144	11.8	14,092	12.0%
2	北洋銀行	第二地銀	○	○	3,501	451	171	20.5	28,775	12.2%
3	北海道信用金庫	信用金庫	○	○	1,226	145	81	15.1	10,952	11.2%
4	室蘭信用金庫	信用金庫		○	117	7	26	4.5	2,082	5.6%
5	空知信用金庫	信用金庫	○	○	305	49	21	14.5	3,043	10.0%
6	苫小牧信用金庫	信用金庫	○	○	287	37	27	10.6	2,252	12.7%
7	北門信用金庫	信用金庫	○	○	307	74	23	13.3	2,134	14.4%
8	伊達信用金庫	信用金庫	○	○	46	2	7	6.6	1,010	4.6%
9	北空知信用金庫	信用金庫		○	132	39	14	9.4	907	14.6%
10	日高信用金庫	信用金庫		○	67	11	8	8.4	948	7.1%
11	渡島信用金庫	信用金庫		○	40	6	11	3.6	740	5.4%
12	道南うみ街信用金庫	信用金庫	○	○	97	14	20	4.9	2,235	4.3%
13	旭川信用金庫	信用金庫	○	○	449	73	40	11.2	5,682	7.9%
14	稚内信用金庫	信用金庫	○	○	141	25	24	5.9	1,649	8.6%
15	留萌信用金庫	信用金庫	○	○	231	30	17	13.6	2,114	10.9%
16	北星信用金庫	信用金庫	○	○	181	20	22	8.2	1,531	11.8%
17	帯広信用金庫	信用金庫	○	○	877	78	29	30.2	4,736	18.5%
18	釧路信用金庫	信用金庫	○	○	292	65	18	16.2	1,796	16.3%
19	大地みらい信用金庫	信用金庫		○	119	21	24	5.0	2,065	5.8%
20	北見信用金庫	信用金庫	○	○	274	43	29	9.4	3,702	7.4%
21	網走信用金庫	信用金庫	○	○	153	29	19	8.1	1,626	9.4%
22	遠軽信用金庫	信用金庫		○	97	12	20	4.9	590	16.4%
23	北央信用組合	信用組合	○	○	246	31	26	9.5		
24	札幌中央信用組合	信用組合	○	○	168	26	14	12.0		
25	空知商工信用組合	信用組合	○	○	154	46	9	17.1		
26	十勝信用組合	信用組合	○	○	160	10	8	20.0		
27	釧路信用組合	信用組合	○	○	64	17	5	12.8		
28	十勝清水町農業協同組合	その他	○	○	13	6	1	13.0		
29	北海道信用保証協会	保証協会	○	○	2,967	271	10	296.7	20,696	14.3%

※貸出件数は、各金融機関のディスクロージャーより転記しています。

1支店あたりのMIS申込件数は、北海道銀行、北洋銀行、北海道信用保証協会はじめ16金融機関において10件以上、貸出件数に占めるMIS割合は帯広信金はじめ13金融機関が10%以上となっています。MISの圧倒的な実践を行い、その結果、社会への納得を得られるようMISをさらに推進していきましょう!

TKC北海道会 会員各位

平成29年5月29日より早期経営改善計画策定支援が開始されました。当事業は、中小企業や小規模企業が、認定支援機関の支援を受けて、経営改善計画を策定し、金融機関に提出することで自己の経営の見直しと早期の経営改善を促すものです。認定支援機関の使命として、当事業を積極的に実践することで、関与先の業績管理体制を整えていきましょう。

TKC北海道会では、全認定支援機関登録事務所が、当事業を実践することを目指して活動します。その一環として、早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧を定期的に会員事務所へ発信いたします。是非、取り組みを開始しましょう!

TKC北海道会 会長 本間 貴久

早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧

[令和6年11月29日現在・順不同・敬称略]

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名	No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川 善明	31	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村 新太郎
2	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎 新	32	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田 めぐみ
3	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治	33	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
4	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史	34	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	吉田 幸広
5	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤 恵一郎	35	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
6	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二	36	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
7	札幌東	札幌市中央区	黒田納規税理士事務所	黒田 納規	37	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
8	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫	38	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
9	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰	39	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
10	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純	40	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦
11	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口 和雅	41	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井 タカ子
12	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉	42	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
13	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜	43	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
14	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬 晃典	44	旭川	稚内市	税理士法人田村会計	田村 栄章
15	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人	45	旭川	旭川市	ふたば税理士法人	西 康子
16	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本 康男	46	旭川	旭川市	税理士法人たいせつ	渡辺 亨
17	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久	47	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
18	札幌東	札幌市豊平区	南優香税理士事務所	南 優香	48	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南 都正弘
19	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビシャス・パートナーズ	森下 浩	49	空知	滝川市	大林強税理士事務所	大林 強
20	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹	50	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤 恵美子
21	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生	51	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 健人
22	札幌東	札幌市中央区	吉田聡税理士事務所	吉田 聡	52	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
23	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太	53	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
24	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広	54	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
25	札幌西	札幌市中央区	税理士法人高橋会計事務所	大館 政男	55	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
26	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也	56	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
27	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸	57	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
28	札幌西	札幌市中央区	アウル税理士法人	鈴木 康弘	58	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
29	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之	59	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
30	札幌西	札幌市中央区	戸井正人税理士事務所	戸井 正人	60	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介

1. 事務所名掲載の条件

- (1) ProFITの「利用申請受理通知」の報告を実施していること。
- (2) 「利用申請受理通知」の報告にて「TKC会報の実践事務所一覧への掲載」および「TKC全国会HPの実践事務所一覧への事務所名掲載」を承諾していること。

※事務所名掲載を希望されない場合は、ProFITにて承諾にチェックを入れないようにしてください。

2. 当資料は、前週の金曜日に集計し毎週月曜日に発信させていただきます。

1. TKCモニタリング情報サービス採用金融機関

■北海道内金融機関■

1	北海道銀行	8	空知信用金庫	15	北星信用金庫	22	日高信用金庫
2	北洋銀行	9	北門信用金庫	16	空知商工信用組合	23	室蘭信用金庫
3	道南うみ街信用金庫	10	稚内信用金庫	17	釧路信用金庫	24	留萌信用金庫
4	北海道信用金庫	11	帯広信用金庫	18	十勝信用組合	25	遠軽信用金庫
5	苫小牧信用金庫	12	北見信用金庫	19	大地みらい信用金庫	26	十勝清水町農業協同組合
6	旭川信用金庫	13	渡島信用金庫	20	釧路信用組合	27	伊達信用金庫
7	北空知信用金庫	14	網走信用金庫	21	北央信用組合	28	札幌中央信用組合

■都市銀行等■

1	三菱UFJ銀行	5	商工組合中央金庫
2	りそな銀行	6	日本政策金融公庫
3	三井住友銀行	7	北海道信用保証協会
4	楽天銀行	8	みずほ銀行

■道内に支店がある他県の金融機関■

1	北陸銀行	5	スルガ銀行
2	みちのく銀行	6	七十七銀行
3	秋田銀行	7	青森銀行
4	第四銀行		



2. TKCモニタリング情報サービス積極推進事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名	No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	あらい税理士事務所	荒井 利幸	30	札幌東	札幌市豊平区	BDO税理士法人 札幌事務所	出口 秀樹
2	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	五十嵐勝義	31	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
3	札幌東	札幌市北区	税理士法人ジャパンタックス申告会	池戸 俊幸	32	札幌東	札幌市南区	中川一俊税理士事務所	中川 一俊
4	札幌東	札幌市東区	市川善明税理士事務所	市川 善明	33	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜
5	札幌東	札幌市東区	岩崎新税理士事務所	岩崎 新	34	札幌東	札幌市東区	名越務務会計事務所	名越 隆雄
6	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治	35	札幌東	札幌市白石区	西原昇一税理士事務所	西原 昇一
7	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史	36	札幌東	札幌市北区	税理士法人札幌北会計事務所	能登 康広
8	札幌東	札幌市豊平区	大林慎一税理士事務所	大林 慎一	37	札幌東	札幌市北区	税理士法人ひづめ会計	樋爪 昌之
9	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎	38	札幌東	札幌市東区	廣瀬晃典税理士事務所	廣瀬 晃典
10	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人金坂会計事務所	金坂 和正	39	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人
11	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二	40	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
12	札幌東	札幌市中央区	黒田納規税理士事務所	黒田 納規	41	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	松本 隆臣
13	札幌東	札幌市北区	公認会計士小島史資事務所	小島 史資	42	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
14	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫	43	札幌東	札幌市豊平区	南優香税理士事務所	南 優香
15	札幌東	札幌市東区	小林崇税理士事務所	小林 崇	44	札幌東	札幌市北区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
16	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭	45	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビジャス・パートナーズ	森下 浩
17	札幌東	札幌市豊平区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦	46	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹
18	札幌東	札幌市北区	税理士法人日本アシスト会計	佐々木忠則	47	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生
19	札幌東	札幌市北区	税理士法人アカシヤ総合事務所	佐々木俊彦	48	札幌東	札幌市南区	米澤篤志税理士事務所	米澤 篤志
20	札幌東	恵庭市	佐藤孝尚税理士事務所	佐藤 孝尚	49	札幌西	札幌市中央区	中央財務税理士法人	安倍 亨
21	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明	50	札幌西	札幌市中央区	税理士法人さっぽろ務務会計	阿部 真澄
22	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰	51	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太
23	札幌東	札幌市豊平区	鈴木久欣税理士事務所	鈴木 久欣	52	札幌西	札幌市中央区	税理士法人春野会計事務所	石川 由男
24	札幌東	札幌市北区	税理士法人すみよし会計総合事務所	住吉 赴夫	53	札幌西	札幌市中央区	板倉圭吾税理士事務所	板倉 圭吾
25	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純	54	札幌西	札幌市中央区	上原貢税理士事務所	上原 貢
26	札幌東	札幌市白石区	竹内美哉税理士事務所	竹内 美哉	55	札幌西	札幌市西区	Aim/パートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広
27	札幌東	札幌市北区	税理士法人しらかば総合会計事務所	田中 慎也	56	札幌西	札幌市中央区	岡崎正毅税理士事務所	岡崎 正毅
28	札幌東	札幌市北区	アース税理士法人	谷口 和雅	57	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也
29	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人アグス平岸事務所	千葉 寛樹	58	札幌西	札幌市中央区	税理士法人川井会計	川井 一男

No	支部	所在地	事務所名	会員名
59	札幌西	札幌市中央区	川崎税理士事務所	川崎 努
60	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸
61	札幌西	札幌市中央区	齋藤豊税理士事務所	齋藤 豊
62	札幌西	札幌市手稲区	佐藤寿志税理士事務所	佐藤 寿志
63	札幌西	札幌市中央区	鈴江誠税理士事務所	鈴江 誠
64	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
65	札幌西	札幌市中央区	外館英樹税理士事務所	外館 英樹
66	札幌西	札幌市中央区	中川雄介税理士事務所	中川 雄介
67	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
68	札幌西	札幌市中央区	橋本佐智子税理士事務所	橋本佐智子
69	札幌西	札幌市中央区	はちもり会計事務所	八森 恵一
70	札幌西	札幌市中央区	林田敬二税理士事務所	林田 敬二
71	札幌西	札幌市中央区	平田清悦税理士事務所	平田 清悦
72	札幌西	札幌市中央区	堀内信吾税理士事務所	堀内 信吾
73	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計堀内	堀内鶴次郎
74	札幌西	札幌市中央区	スズカ税理士法人	松本 剛明
75	札幌西	札幌市西区	三上務務会計事務所	三上 香織
76	札幌西	札幌市西区	税理士法人共栄会計	長田 幸雄
77	札幌西	札幌市西区	村岡学税理士事務所	村岡 学
78	札幌西	札幌市中央区	森下敏美務務会計事務所	森下 敏美
79	札幌西	札幌市中央区	柳橋務務会計事務所	柳橋 琢磨
80	札幌西	札幌市中央区	八島依子税理士事務所	八島 依子
81	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田めぐみ
82	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
83	札幌西	札幌市中央区	湯澤武憲税理士事務所	湯澤 武憲
84	札幌西	札幌市中央区	吉田淳税理士事務所	吉田 淳
85	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	吉田 幸広
86	札幌西	札幌市西区	米倉弘之税理士事務所	米倉 弘之
87	小樽	小樽市	澤田忠宏税理士事務所	澤田 忠宏
88	小樽	小樽市	税理士法人中央会計事務所	杉下 清次
89	小樽	小樽市	戸井三雄税理士事務所	戸井 三雄
90	小樽	岩内郡岩内町	西正則税理士事務所	西 正則
91	小樽	虻田郡倶知安町	税理士法人アームズ会計社	藪内 英利
92	函館	函館市	大原章敬税理士事務所	大原 章敬
93	函館	函館市	奥山昌弘税理士事務所	奥山 昌弘
94	函館	函館市	田村維之税理士事務所	田村 維之
95	函館	北海道八雲町	千田浩文税理士事務所	千田 浩文
96	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
97	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
98	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
99	函館	函館市	税理士法人アグス函館事務所	蛭子井真市
100	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
101	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
102	空知	岩見沢市	税理士法人TACS	木村 聡
103	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
104	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 健人
105	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
106	空知	岩見沢市	税理士法人ひまわり	山田 和訓

No	支部	所在地	事務所名	会員名
107	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子
108	旭川	稚内市	蝦名朗太税理士事務所	蝦名 朗太
109	旭川	旭川市	税理士法人エール旭川	尾田 利雄
110	旭川	旭川市	金谷博光税理士事務所	金谷 博光
111	旭川	士別市	税理士法人神田税理士事務所	神田 将吾
112	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
113	旭川	旭川市	朝日税理士法人旭川事務所	實吉 孝範
114	旭川	名寄市	税理士法人下田総合事務所	下田倭津夫
115	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
116	旭川	旭川市	多田陽平税理士事務所	多田 陽平
117	旭川	稚内市	税理士法人田村会計	田村 栄章
118	旭川	旭川市	藤井雄一郎税理士事務所	藤井雄一郎
119	旭川	旭川市	舟橋馨税理士事務所	舟橋 馨
120	旭川	旭川市	丸山和也税理士事務所	丸山 和也
121	旭川	旭川市	税理士法人北郡会計	渡辺 祐吉
122	北見	紋別市	井山等税理士事務所	井山 等
123	北見	北見市	中島茂幸税理士事務所	中島 茂幸
124	北見	網走市	税理士法人ホークスネクスト経営会計	南部 正弘
125	北見	網走市	税理士法人北翔会計	藤原 誉康
126	北見	紋別市	渡邊直喜税理士事務所	渡邊 直喜
127	帯広	帯広市	梅田勇税理士事務所	梅田 勇
128	帯広	帯広市	税理士法人FPC	大平 涉
129	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
130	帯広	広尾郡広尾町	木下利夫税理士事務所	木下 利夫
131	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
132	帯広	帯広市	佐藤信祐税理士事務所	佐藤 信祐
133	帯広	帯広市	税理士法人きずな会計事務所	佐藤 達徳
134	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
135	帯広	帯広市	関税理士事務所	関 有紀子
136	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
137	帯広	帯広市	田中聡税理士事務所	田中 聡
138	帯広	帯広市	谷本会計事務所	谷本 倍規
139	帯広	河東郡音更町	てるい会計事務所	照井 直樹
140	帯広	帯広市	東城会計事務所	東城 敬貴
141	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
142	帯広	河西郡芽室町	長田勇一税理士事務所	長田 勇一
143	帯広	帯広市	松田孝志税理士事務所	松田 孝志
144	釧路	釧路市	伊藤文彦税理士事務所	伊藤 文彦
145	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
146	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
147	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介
148	苫小牧	苫小牧市	あすか税理士法人	石田 政士
149	苫小牧	苫小牧市	猪股冬樹税理士事務所	猪股 冬樹
150	苫小牧	室蘭市	駒井桂伺税理士事務所	駒井 桂伺
151	苫小牧	登別市	柴山徳雄税理士事務所	柴山 徳雄
152	苫小牧	苫小牧市	本野博之税理士事務所	本野 博之
153	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦



支部例会・研修会だより

FROM TOMAKOMAI, SAPPORO HIGASHI, SAPPORO NISHI, OTARU, ASAHIKAWA



支部例会・研修会

11月7日(木)、室蘭市アパホテル(室蘭)にて
苫小牧支部例会を開催いたしました。

出席者は会員7名のほか、TKC北海道会からは
澤田忠宏副会長、提携・協定企業、TKC北海道
センターの方々に加え、ゲストとして札幌東支部か
ら佐々木忠則会員が出席しました。

例会に先立ち研修会が開催され、当支部会員
でTKC北海道会中小企業支援委員会の湯谷和
彦委員長が講師となりました。室蘭信用金庫、伊達
信用金庫、日本政策金融公庫室蘭支店の方々も
お招きして、TKC会計事務所の特徴である「自計
化の支援と月次巡回監査」「書面添付」「TKCモ
ニタリングサービス」「FXクラウドシリーズ」などを説
明していただきました。金融機関の方々も興味深く
受講されていました。

研修終了後に支部例会が開催され、柴山太一
支部長あいさつの後、澤田副会長より「国税局・税
務署訪問について」「年度重要テーマ研修2024
の案内」「46回秋季大学in北見開催の報告」が
ありました。その後、各委員会からの報告があり、
大同生命保険株式会社、大和ハウス工業株式
会社、積水ハウス株式会社からそれぞれお知らせ
がありました。

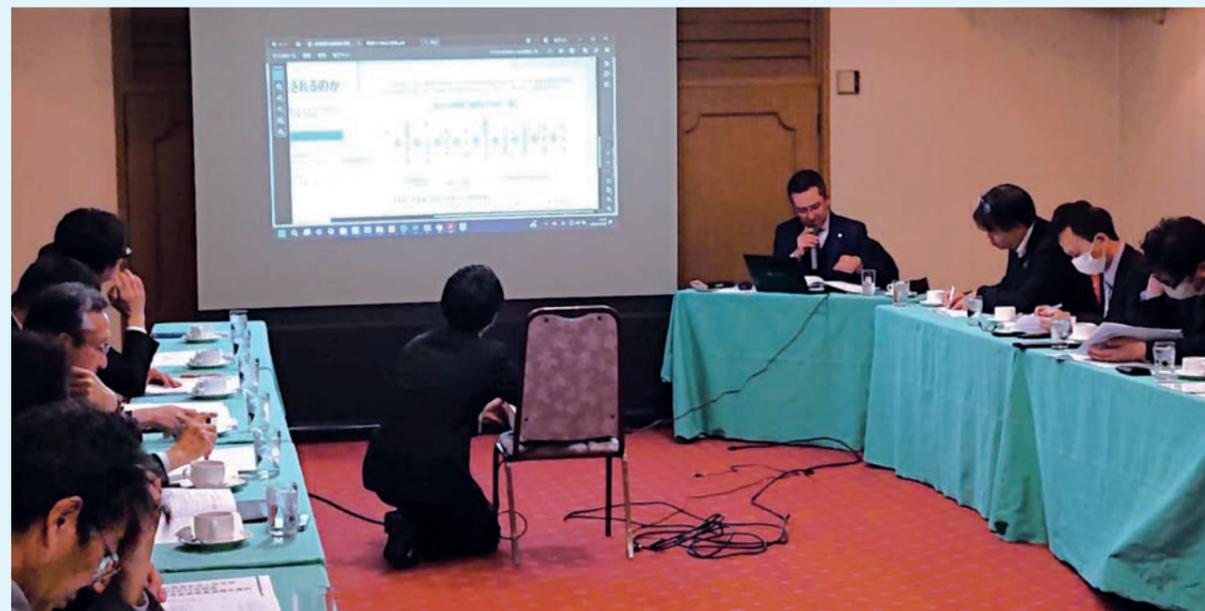
最後にゲストとして出席された佐々木会員(様似
町出身)が委嘱されている「アポイマグマ大使」の
話で盛り上がりました。

終了後、室蘭市中島町の「鮮極家」で懇親会が
開催されました。

(苫小牧支部 本野 博之)



支部例会の様子



研修会の様子



懇親会の様子



加藤恵一郎会員とのランチ会

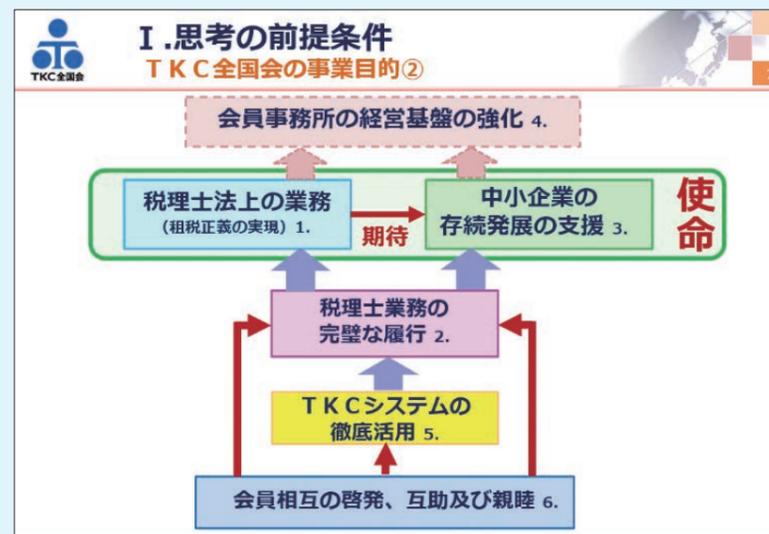
11月7日(木)10時半より、大同生命保険株式会社の会議室にて、札幌東支部の上期保険指導強化期間の特別表彰があり、あわせて「加藤恵一郎会員とのランチ会」が開催されました。

その中で、「近未来の会計事務所 会計事務所の経営革新～今後10年、存続・発展するための打ち手とは?～」と題して、今後のTKC全国会の方向性をお話していただきました。

冒頭では、思考の前提条件として、「いろいろな職業が成り立っているのは、社会の人々の『本当

のニーズ』を理解して、社会の人々の進歩・繁栄に貢献しているからである」というメッセージがありました。それを受けて、その「社会の期待に応えられなければ、その職業は社会にとって不要になり消滅する」ことから、社会的責任の重要性について、力説されました。

そして、われわれが進むべき道として、TKC全国会の目的を図解(下記参照)にて分かりやすく、位置付けを示されました。この図解は、まさに目からうろこでした!



TKC全国会の事業目的の図解 (一部抜粋)

「会計事務所の経営基盤の強化」ばかりを追ってもそこには繁栄はなく、税理士法上の業務、中小企業の存続発展の支援という使命をしっかり全うする必要があります。そのため、税理士業務の完璧な履行が求められており、実現のために、TKCシステムの徹底活用をしていく。その実現を一税理士

が孤立せず、会員相互の啓発、互助および親睦を通じて成就させていくという、TKC全国会の目的を改めて示されました。

TKC全国会の事業目的を真に理解し、行動しなければならないことを教えていただきました。

特に、私事ですが、支部長を拝命しましたが、無我夢中でどうしてよいかもわからず1年間を過ごしてきました。今回、改めてTKC全国会の目的に触れて、全国会、北海道会、支部の役割や在り方がしっかりと理解され、すっきり霧が晴れました!

そして、関与先企業の「本当のニーズ」を勘違いしていないか、中小企業は本当に記帳代行を求めているのか、という本質的な問題提起をしていただきました。

セミナー後半においては、現在TKC全国会で「『会計事務所の経営革新』検討プロジェクト」の議論されているポイントを解説していただきました。

「事前確認」と「事実認定」の区別をしっかりとしなければならないこと、税理士法第45条の「真正の事実」に基づき税理士業務の完璧な履行を遂行するためには全部監査が必須となるものの、全部監査の効率的実施体制の構築ができるかどうかがかぎになるということがポイントになります。

そのためにも、自動生成された膨大な仕訳についても、「仕訳生成プロセスに積極的に関与すること」「異常値の定義を自分で決めること」が解決



のヒントになることを示されました。

また、経営助言業務の核となる企業防衛がしっかりとできる事務所体制の構築、職員教育についても、とてもヒントになる講話でした。

近未来の巡回監査のあり方についてイメージすることができ、とても刺激になりました。

このような充実した内容を企画していただきました、金坂肇札幌東支部企業防衛制度推進委員長、大同生命保険株式会社の下村利文支社長に大変感謝しております。また、ご多忙の中、本間貴久会長にもご参加いただきました。

ありがとうございました!

(札幌東支部長 市川 善明)





支部例会・研修会だより

FROM TOMAKOMAI, SAPPORO HIGASHI, SAPPORO NISHI, OTARU, ASAHIKAWA



合同忘年会開催される

12月5日(木)、グランドメルキュール札幌大通公園2Fエンプレスホールにて、東西支部合同忘年会が行われ、提携協定企業を含め総勢72名が参加しました。司会は、札幌東支部の瀬戸口明慶会員、札幌東支部の市川善明支部長による開会のあいさつ、新垣全TKC北海道SCGサービスセンター長による乾杯の発声で祝宴へと移りました。

後ほど、令和7年7月札幌開催となる第52回TKC全国役員大会の告知が、札幌東支部の宮下直樹実行委員長から行われ、次の日の渉外・広報委員会のためにお越しいただいていた高須亮二TKC全国会事務局次長にあいさつをいただきました。

余興として、紙のコースターの裏にA～Dのアルファベットが書かれている方が当たりで、Aグループから順につかみ取りをし、枚数の多い方から景品を選ぶコインつかみ取り大会が市川支部長により行われました。Dグループ後、コインつかみ取り主催の市川支部長のコースターが実は当たっていたなど若干景品が余っていましたので、じゃんけ

ん大会が行われ、勝利者から景品を選ぶ運びとなりました。今回は種々の余興と恒例のビンゴ大会でしたので、今回は趣を変えてつかみ取りとなりましたが、景品を貰えなかった会員からは、先に当選者が決まってしまうので、後はただ見ているだけではイマイチだったというご意見もありました。次回は皆さまが楽しめる余興がいいですね！

宴もたけなわ、札幌西支部の林田敬二会員、空知支部の木村聡副会長、大同生命保険株式会社の下村利文支社長と桑名則之課長、本日の忘年会前のセミナー講師を務められた神奈川会の小形剛央会員よりあいさつ、最後に帯広支部の砂原政広副会長より中締めをいただきました。時間も押しているため、早めに切り上げてもらうというちょっとしたハプニングもありましたが、一丁締めにて盛況のうちにお開きとなりました。合同忘年会、令和6年1年間お疲れさまでございます。

(広報委員会 谷口 卓弥)



支部総会

7月27日(土)、「おたるの味 町の寿司」において小樽支部第50回定期総会を開催いたしました。

TKC北海道会から本間貴久会長はじめ木村聡副会長、宮下直樹総務委員長、坂本文彦広報委員長、佐々木雅敏リスマネ委員長、藤木竜也局長、株式会社TKCから新垣全センター長、宇佐見洋亮センター長代理、大同生命保険株式会社から下村利文支社長、桑名則行課長、大和ハウス工業株式会社から阿久根元成北海道営業推進室室長、積水ハウス株式会社から、工藤理恵子さん、中田祐一さんに来賓としてご参加いただきました。

小樽支部総数13名、出席5名、委任状7名で総会成立となり、第1号議案「令和5年度事業報告及び収支決算書承認の件」、第2号議案「令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件」につき満場一致で承認されました。

総会終了後、おたる潮祭りに参加される会員が合流、懇親会が始まり、寿司とビールで一休み。懇親会の最中に潮まつりに参加するため浴衣に着替え始めましたが、段取りが悪く、予想以上に時間がかかってしまい、何名かは集合写真に間に合わなくなるというハプニングがありました。

出発は午後5時46分、コースはいつもより短縮されています。初めて参加される方もいましたが、最後のほうは、かなりまとまっていた。終点の中央ステージに踊りながら登壇し今年の「潮ねりこみ」は終了、中央ステージは今年で最後になる予定です。

その後、恒例のワインバーにて打ち上げです。支部会員からお肉、スイカ、メロン、トウモロコシの提供を受け、大いに盛り上がりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

(小樽支部長 鈴木 崇史)



「潮ねりこみ」ゴール時の様子



支部例会・研修会だより

FROM TOMAKOMAI, SAPPORO HIGASHI, SAPPORO NISHI, OTARU, ASAHIKAWA



支部例会

11月8日(金)、旭川トーヨーホテルにおいて支部例会が開催されました。

例会前には「事務所経営塾」が行われ、TKC北海道会巡回監査・事務所経営委員会の蛸名和広委員長から、巡回監査の実践について講義をいただきました。



支部例会は、多田陽平総務委員長の司会で、10月11日にご逝去された下田悌津夫会員への黙とうを捧げ、實吉孝範支部長のあいさつがありました。また、TKC北海道会の菅野浩副会長より10月17日の全国会理事会報告、巡回監査率の向上、北海道会強化プロジェクト企画について説明がありました。

實吉支部長から、支部間交流として帯広支部例会の参加企画、例会のペーパーレス化、役員選考委員会の動向などについて報告がありました。

各委員会報告では、共済制度推進委員長から研修の案内と実践事務所エントリーのお礼、企業防衛制度推進委員長から10月末にキャラバンを行ったことと下期保険指導強化期間の説明がありました。また、中小企業支援委員長から農業経営



研修会・高付加価値経営実践講座の案内、NMS委員長から新規入会者の報告とニューメンバーズフォーラム・ウインターセミナーの案内など、各委員長から報告されました。

続いて提携協定企業からの報告があり、次回の例会を令和7年2月7日に行うことを確認して支部例会を終了しました。

(旭川支部 舟橋 馨)





第45回合同忘年会

12月6日(金)18時より、アートホテル旭川において、第45回TKC旭川支部合同忘年会が開催されました。当日は、ご来賓14名、旭川支部会員・職員73名、計87名に参加いただきました。

まず主催者としてあいさつの後、旭川支部・實吉孝範支部長よりあいさつをいただきました。また、ご来賓を代表して北海道会の本間貴久会長から祝辞を頂戴し、旭川支部友の会の歴史にも触れていただくなど、大変光栄なお言葉をいただきました。



本間貴久会長

続いて、北海道会木村聡副会長による乾杯の発声を合図に、忘年会がスタートいたしました。

余興では、「〇×ゲーム」と「二人一組でティッシュ箱を高く積み上げるゲーム」が行われました。進行

役は、第1回合同忘年会から参加している税理士法人カムイ会計の菊地悦子さんと、私、今野が務めさせていただきました。

第1ステージでは、全員参加の〇×ゲームを実施しました。勝ち残った方々が第2ステージへ進み、二人一組となってティッシュ箱を高く積み上げるゲームに挑戦しました。このゲームは合同忘年会の定番であり、チームの力を合わせた奮闘ぶりが大いに盛り上がるイベントです。特に、競技中の鬼気迫る表情と、SCGの塩澤樹生さんの爽やかな笑顔が印象的で、会場全体が一体となって楽しむ様子が見られました。

続いて、毎年恒例のビンゴゲームでは、豪華景品が用意されました。1等賞の「Apple Watch」は、大同生命保険株式会社の衣川健吾さんが当選されました。偶然にも、昨年の1等賞当選者も大同



ビンゴゲームで3等賞の「北海道ラーメン半年分」に当選した税理士法人エール旭川の酒井恵さん(写真右)

生命の社員であったことに驚きました。2等賞の「黒毛和牛1年分」は税理士法人薄井会計の荒口久美子さんが、3等賞の「北海道ラーメン半年分」は税理士法人エール旭川の酒井恵さんがそれぞれ当選されました。

また、大同生命賞の授与では、大同生命に進行をバトンタッチしました。若干のハプニングがありましたが、大澤真人副社長の迅速での確な対応により、滞りなく進行することができました。さらに、舟橋馨会員や薄井タカ子会員から提供いただいた景品も加え、ビンゴ景品を充実させていただきました。

ビンゴ景品が全て贈呈された後は、当選されていない方を対象にじゃんけん大会を行い、見事勝利

した北海道会事務局長・藤木竜也会員に空気清浄機を贈呈いたしました。

最後は、大同生命の大澤副支社長によるあいさつで締めとなり、合同忘年会は無事に幕を閉じました。

短い時間ではございましたが、会場には終始笑顔があふれ、来年への活力を得られるひとときとなりました。一年の締めくりにふさわしい忘年会を開催できたことを、心より嬉しく思っております。

ご出席いただきました皆さまに、改めて心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

(旭川支部友の会代表幹事 今野 英樹)



ニューメンバーズフォーラム1日目

11月15日(木)～16日(金) TKCニューメンバーズフォーラム2024が高松にて開催

～その挑戦が社会を動かす！共につくろう税理士の未来を～

ニューメンバーズフォーラム2024in高松は、サンポートホール高松にて、全国からニューメンバーズ会員をはじめとして、総勢820名が参加するイベントとなりました。

オープニングビデオ上映、TKC全国会甲賀伸彦ニューメンバーズサービス委員長による開会宣言後、継続MAS実践、自計化推進、書面添付実践、翌月巡回監査率において第1位～3位のニューメンバーズ会員の表彰式が行われました。

開会式を終え、1日目の講演はTKC全国会・坂本孝司会長より、「会計事務所の経営革新～感動を呼ぶ巡回監査～」というテーマでお話をいただきました。

その冒頭坂本会長は「黙ってついてきてほしい」と全国から集まったニューメンバーズ会員に訴えかけました。会長自身も「さかのぼることを40数年前は、名ばかりTKCで右往左往していた。その状況から脱却できたのは、先輩会員に倣って、標準的なTKCの業務スタイルを貫いてきたからだ」と言われました。

続いて、関与先拡大については、自分を中心としたお客さまの関係図を紹介しながら、「いい仕事

をすればお客さまが紹介されて無尽蔵に増え続けるわけではない。それにはやはり限界がある。税理士自身が広く社会性を持って、接点をたくさん持つことが重要。もちろん、品質をないがしろにしてはいけない」と、お話しされました。

また、関与先の拡大についてはこうも話されました。「多くの経営者は①簿記・会計の価値②税理士の価値③月次巡回監査の価値④TKCシステムの価値を知らない。これらの啓蒙こそが営業活動である。正しく情熱を持って伝えれば、感動を呼び起こし、啓蒙した量だけ日本の企業は健全になる。顧客となった後で、価値を知らしめようとしても遅すぎる」そして、「多くの税理士はこうはなっていない。そういう意味でもこの市場はブルーオーシャンである」と話されました。

「そのためにも、税務・会計・保証・経営助言の4大業務を同時提供し、三大プロフェッションの一役を担う税理士の地位を高めていかなければならない」とも言われました。

最後に感動呼ぶ巡回監査の一事例を紹介し、「人の経験を自分の経験にしてください。僕が開業から5年間に味わった苦労は絶対しないでください」と会長講演を終えられました。

その後は、5つの分科会に分かれて、全国から選ばれた会員により、以下のテーマでフォーラム開催となりました。

<第1分科会>

ゼロからの関与先拡大！
～3年で30件・売上3千万円を実現する取組みを大公開～

<第2分科会>

FXクラウドをフル活用！
～社長と経理担当が手放せないシステムにするために～

<第3分科会>

高付加価値へ転換！
～顧客満足度がアップし、単価が倍増する顧問先へのサービスとは？～

<第4分科会>

職員採用？それとも1人を貫く？
～これからの事務所づくりと一緒に考えてみませんか？～

<第5分科会>

TKC社員の皆さんへのメッセージ
(TKC社員向け)

(広報委員長 坂本 文彦)

第1分科会

ゼロからの関与先拡大!

～3年で30件・売上3千万円を実現する取組みを大公開～

第1分科会は、「ゼロからの関与先拡大!～3年で30件・売上3千万円を実現する取組みを大公開～」というテーマでした。

コーディネーターの鷹谷正登会員(TKC南近畿会)、講師の田沼勇祐会員(TKC東京都心会)、講師の渡邊喜明会員(TKC静岡会)の3名の実践例の解説があったのち、テーブルごとにグループディスカッションを行いました。

前半の実践例の解説では、TKC全国会ニューメンバーズサービス委員長の甲賀伸彦会員の「甲賀方式」の紹介がありました。「甲賀方式」とは、関

与1年目は、顧問報酬を全額値引きして、システムサポート料のみ請求し、2年目以降は、顧問報酬の値引きをやめる方式とのことです(間違っていたら、すいません)。その解説の際に、サプライズで、生の甲賀会員が会場の後ろの方で、例のポーズをされていました。分科会で鮮明に覚えているのは、このポーズです。

今後、甲賀方式を積極的に取り入れていきたいと思えます。渡邊会員が商談の際にされている関与スケジュールの提示も大変参考になりました。

(札幌東支部 瀬戸口 明慶)

第2分科会

FXクラウドをフル活用!

～社長と経理担当が手放せないシステムにするために～

第2分科会は、「FXクラウドをフル活用」をテーマにしたパネルディスカッションでした。

内容は、まずFXクラウドの登場によって何が変わったのかを議論し、実際の活用事例、初期指導から巡回監査への運用ポイント、所内の推進事例といった項目を掘り下げたものでした。

参加者にとっては、事務所体制の改善に非常に役立つものだったと思います。

(釧路支部 鈴木 圭介)



第3分科会

高付加価値へ転換!

～顧客満足度がアップし、単価が倍増する顧問先へのサービスとは?～

フォーラムの中でも目玉となるプログラムが初日に行われる分科会です。全4つの分科会から私が参加したのは、第3分科会「高付加価値へ転換!～顧客満足度がアップし、単価が倍増する顧問先へのサービスとは?～」です。このテーマは、事務所発展のために必要不可欠だと思い、参加を決めました。

パネラーの会員の方々は、当初は記帳代行を多く受けられていたようですが、やがて記帳代行のデメリットの大きさに気付き、TKC自計化に切り替えていかれたという経験を、具体的な事例を交えて説明してくれました。

中でも一番ドキッとしたのが、「記帳代行を行っている会社が成長しないだけでなく、職員が定着しない」(北海道会・蝦名和広会員)というお言葉でした。弊所も現在職員を採用し、教育を行っているところですが、熱心に教育をしている職員が記帳代行業務に追われ、疲弊して退職してしまう。考えるだけでゾッとしますね。

また、取り組みとして興味を持ったのが、「継続MASを活用した経営支援を全関与先に行いたいという理由から、やむを得ず記帳代行している先にもFXまいスタークラウドを導入している」(中部会・

矢田宏昌会員)というものでした。さらに事業計画作成の際に、顧問報酬の値上げや加入させたい企業防衛の保険料などを最初から織り込んで、その計画を基に交渉・提案を行うということもしているようで、色々なシステムの活用方法があるのだと勉強になりました。

弊所も恥ずかしながらまだ記帳代行が残っているため、この分科会に参加した経験を活かし、勇気を出してオール自計化を目指していきたいと思っていました。

(札幌西支部 川崎 努)



北海道会・蝦名和広会員(写真中央)、
中部会・矢田宏昌会員(写真右)

第4分科会

職員採用?それとも1人を貫く?

～これからの事務所づくりを一緒に考えてみませんか?～

「職員採用?それとも1人を貫く?～これからの事務所づくりを一緒に考えてみませんか?～」をテーマとする第4分科会に参加しました。

距離を近づければセクハラ、距離をおけば指導放棄、叱責すればパワハラと昭和の寛容な時代の常識がどこまでも許容されるわけではなく、今までの当たり前がこれからもそうだと限らない、人手不足が深刻化する令和時代の人材マネジメントに関して、トークセッションの講師陣による、①採用について②職員教育について③事務所管理についてディスカッション後、グループ毎のディスカッションを通して、職員を適切に採用・育成できる環境の事務

所づくりを一緒に考えていく内容で、先例に学ぶTKCならではのフォーラムといえます。

トークセッションで印象的だったのが、職員の満足度をあげる施策として、魚住元(うおずみ げん)会員は種々の福利厚生プランを用意し、コーチング制により要望を聞き、帖佐彰也(ちょうさ あきや)会員は飲み会に残業代が出るのかが問題になる昨今、月1回のランチ会を実施し好評とのことでした。

グループセッションでは20グループに分かれ、自分が参加した第4グループでは、職員を増やしていくことをメインテーマとしたディスカッションを行い、大変有意義なものとなりました。

(広報委員会 谷口 卓弥)

懇親会

懇親会は18時より、JRホテルクレメント高松3階飛天にて総勢820名の参加で行われました。

香川大学公認よさこいサークル風華の1～3年生のメンバーによるオープニング、司会は、愛媛県が舞台とがなっている夏目漱石の『坊ちゃん』の登場人物「坊ちゃん」と「マドンナ」の衣装を着た、白石隆志(しらいし たかし)会員(愛媛支部)と牛神宏子(うしがみ ひろこ)会員(愛媛支部)が務められ、渡邊洋一大会会長と兼頭昭義実行委員長のあいさつ、飯塚真規株式会社TKC代表取締役社長による乾杯のご発声で祝宴へと移りました。

立食のバイキング形式で料理・飲み物が提供され、愛媛みかんを原料としたポンジュース、香川県・愛媛県・徳島県・高知県それぞれ自慢の四国の地酒が振る舞われ、坂本孝司全国会会長と飯塚社長による名刺交換会が行われました。

最後に、清水博文ニューメンバーズ・サービス委員会担当小委員長より、2日目パネルディスカッションのパネリスト3名とコーディネーターの紹介、野垣浩サービス委員会担当副会長より中締めのおいさつをいただき、盛況のうちにお開きとなりました。

(広報委員会 谷口 卓弥)

『保証』と『経営助言』が求められていく」と講演をまとめられました。

その後休憩をはさみ、秋元学会員(神奈川会)をコーディネーターに迎え、角谷雅子会員(近畿京滋会)、北條伊織会員(四国会)、三上拓真会員(北陸会)の3名によるパネルディスカッションが行われました。

「その挑戦が社会を動かす!共につくろう税理士の未来を」というテーマで、ニューメンバーズ会員なら誰もが通るであろう、「関与先拡大」と「職員採用」という事務所の基盤作りについて、お話しいただきました。特に角谷会員(開業間もないパン屋さん)と三上会員(TKC会員:本人役)の顧問契約にかかる面談のロールプレイングは秀逸でした。

90分という時間が短くも感じたひととき。各々が経験され、また取り組んでいることを正面から真面目に時に面白おかしく、そして余すところなくお話しいただきました。参加したニューメンバーズ会員にとって参考となるものだったのではないのでしょうか。

最後は橋本真一全国会ニューメンバーズサービス委員会副委員長の閉会宣言により、高松でのニューメンバーズフォーラムはその幕を閉じました。今回も全国から多くの会員が一堂に集い2日間をかけてさまざまな会員から熱のこもった話をお聞きする機会となり、非常に有意義なフォーラムであったと感じました。

(広報委員長 坂本 文彦)

ニューメンバーズフォーラム2日目

昨夜の懇親会の盛り上がりの余韻の中で

2日目は、昨夜の懇親会の盛り上がりの余韻の中、飯塚毅TKC全国会名誉会長講演録で幕を開けた後、飯塚真規株式会社TKC代表取締役社長より「TKCの経営戦略」と題して基調講演がありました。

飯塚社長はその中で「一歩先行きデジタル化は世界の潮流である。その中で日本は後れを取っており、その役割が今回の税理士法改正で税理士にゆだねられている。とりわけTKCに対する期待は高い。それをTKCは後押ししていく」と語りました。

また、なぜデジタル化は必要なのかという問いに「変わりゆく税理士業務の中で経營業務を柱としていなくてはならない。それは、会計にかかわる会社の従業員、会計事務所の職員の作業工数を圧倒的に減らし、経営助言業務に注力していかなければならない。そして、『社長から見える会計事務所の時代』へと前進し、中小企業を支えていかなければいけない」ともお話しされた。

最後に、「今、問われる税理士の役割を、デジタル化が下支えとなった正確な会計帳簿に基づく

なお、ニューメンバーズフォーラムの2日目は以下の様なスケジュールと内容で開催されており、オンデマンド研修において、1日目の坂本孝司TKC全国会会長の講演と共に配信されております。

○ 9:00～9:10 ビデオ研修(飯塚毅 TKC全国会名誉会長講演録)

○ 9:10～10:00 基調講演



飯塚 真規
株式会社TKC代表取締役社長

○ 10:20～11:50 パネルディスカッション



コーディネーター
秋元 学会員
(神奈川会)



パネリスト
三上 拓真会員
(北陸会)



パネリスト
角谷 雅子会員
(近畿京滋会)



パネリスト
北條 伊織会員
(四国会)

○ 11:50～12:00 閉会式

事務所見学会に参加して

ニューメンバーズフォーラム2024in高松の前日、11月13日(水)、高知県高知市にある刈谷敏久会員の事務所、税理士法人刈谷&パートナーズの事務所見学会に参加しました。

事務所は高知駅から車で5分位のところにありました。2001年の「第14回日経ニューオフィス審査委員長特別賞」を受賞した事務所は、外から見ると、一般的な会計事務所のイメージとは異なり、きれいでおしゃれな建物。職員の働きやすさの他に、周辺への景観にも配慮した建物なのだそうです。

見学会では、個人事業者は基本的に関与しない、TKCのFXシリーズ必須、全関与先書面添付必須、そして金融機関とは定期的に勉強会・懇親会・ワークショップを続け、金融に強いことが事務所方針であると説明がありました。

また、開業から現在までのさまざまな苦労話もお聞きすることができました。

事務所内の見学では、紙の書類がほとんど置かれていないことに気が付き、刈谷会員にお伺いすると、2002年docu works3の時代から事務所のペーパーレス化に取り組まれているそうです。新築当初からほとんど書類が増えていないとのこと。蓄積されたデータ量も相当、かつ重要なものばかりのため、今は40TBのストレージにバックアップにバックアップを重ねる構成で、自ら保守管理を行っているとのことでした。

DX化、ペーパーレス化を進めるためには、システム・ネットワークの知識を身に付けることも重要だと感じました。



事務所エントランス
看板を道路から奥に引っ込め景観に配慮されています



第14回
ニューオフィス賞の
表彰盾



刈谷会員自ら
保守をしている
機材等
玄人向けの機材も
使われているようで、
とても興味があります



研修室



2階から見た事務所執務室 天井高は8mあります

懇親会は高知市内にある旬彩「卓」本店。高知のおいしい食材に舌鼓を打ち、その後は各自2次会、3次会、4次会(最大何次会まで開催されていたのかは不明)と流れていきました。なお、私は個人的に4次会+a次会。その最後で力尽き、餃子の屋台を出ようとしたときに、同じく高知市内で事務所見学会に参加していた鹿児島支部の猛者がお店に入ってきました。一体何次会まで開催されていたのでしょうか…?

高知市内でも全国のTKC会員と懇親を深めることができ、とても楽しかったです。

(注:翌日の高松開催のフォーラム、遅刻しないで無事参加しております)

(札幌東支部 岩田 圭史)



1次会の様子



1次会が開催された、旬彩「卓」本店



2次会の様子 鹿児島支部と茨城支部と合流
全国からたくさんの方が集まり、懇親を深めることができました



集合写真



旭川支部

細田 一晴
Kazuharu Hosoda

初めましての人は初めまして。初めてじゃない人も初めまして。令和6年10月に独立開業いたしました細田一晴(ほそだ かずはる)と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

生まれてから高校卒業まで旭川で育ち、その後は札幌の専門学校を経て、生まれ育った旭川に戻り、この地に根を張ることとなりました。

私には趣味が2つあり、一つは車の運転です。中学生の頃に漫画『頭文字D』にハマり、そこから中学・高校と友人と『頭文字D』気分で行ってみたい、レースゲームにハマったりを経てそのまま大人になりました。車の維持費を考慮し就職を旭川に決め、晴れて乗りたかった車に乗り、現在もスポーツカーに乗っています(なお私に布教した友人が大のホンダ党だったためFRではなくFFのスポーツカーに乗っています)。

スポーツカーも少なくなり、マニュアル車乗りはさらに少なくなった昨今ですが、私はできる限り時代の流れに抗っていこうと思っています。

ちなみに…公道では安全運転に努めています…。

もう一つの趣味は日本拳法という武道です。試験勉強による極限のストレスの解消のため20代になってから始めて、気づけば12年黒帯式段となりました。日本拳法を知らない方も多いと思うので紹介(宣伝?)すると、防具を装着し打撃で重い一撃を入れたり、投げ技で投げた相手に一撃を入れると「一本」となり、その一本の多いほうが勝ちというルールです。防具を付けるため大きな怪我、特に外傷を負うことがないため仕事をしている人には非常におすすめのスポーツだと思っています。興味を持たれた方、ぜひ!インターネットで検索してみてください。

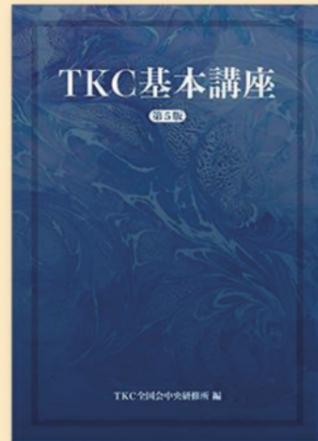
…自己紹介というより趣味紹介となりましたが、自分の文才ではこれ以上書くネタが思いつかず、さらにはこの原稿を書いている時点で提出の締め切りを過ぎていることもあり(本当にすみません…)これで失礼いたします。

皆さま、繰り返しにはなりますが今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

TKC北海道会強化プロジェクト企画 第1回「Next Stage Program」研修開催報告

TKC北海道会強化プロジェクトでは、TKC入会4年以降の会員を対象とした全3回の特別研修「Next Stage Program」を、昨年続き今年も開催しました。当企画は、全国会の運動方針「巡回監査を断行し、企業の黒字決算と適正申告を支援しよう！」に本気で取り組む会員を増やすことを目的としています。初回プログラムは理念研修です。全国会中央研修所長の服部久男会員に講義いただきました。

日時：10月10日（木）13:30～17:10
会場：TKC北海道会研修センター
**講師：服部久男会員 TKC全国会中央研修所長
TKC全国政経研究会幹事長**
テーマ：TKC基本講座（第5版）を読み解く



第1部 TKC理念	第2章 TKC理念
第1章 TKC創設とTKC全国会結成 1. TKC創設の理念 2. TKC全国会の結成目的 3. TKC全国会の基本的活動 4. TKC全国会の事業目的 5. TKC会計人の基本理念（25項目）	1. 自利トハ利他ヲイフ 2. 職業会計人の行動指針 3. 職業会計人の実践的行動規範 4. 理念の実践——税理士の4大業務 5. 日本税法は「帳簿の証拠力」を認めている 6. 過去データの訂正・追加・削除の処理の禁止

服部会員から飯塚毅名誉会長の人物像、全国会結成目的と背景、自利利他の構造、TKC会計人の基本理念（25項目）などご自身の経験や独自の捉え方を踏まえ、解説いただきました。



講師：服部久男会員

TKC会計人として、覚悟を決めて進むことが大切です。堂々たる職業生活を展開するためにも、TKC基本講座を繰り返し読み返しましょう。また、所長から職員全員へ当書籍を贈り、所内で勉強会をすることを勧めます。理念を理解しTKC全国会運動方針に取り組みましょう！



参加会員
20名

アンケート集計：大変良かった93.7%、良かった6.3%
 受講会員の決意：「二念を継ぐな」の言葉を大切に、邪念を捨てて行動します。「自利利他」の真の意味を知りました。基本講座を繰り返し読み込みます。

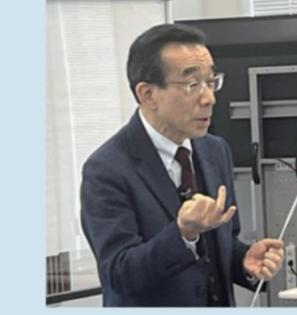
第2回 NSP研修企画
 日時：令和6年11月6日（水）13:30～17:30
 内容：経営助言（講師 千賀秀信さま マネジメント能力開発研究所 所長）

第3回 NSP研修企画
 日時：令和7年1月16日（木）15:00～17:00
 内容：ON税理士法人見学会（年度重要テーマ研修2024 札幌会場講師）

TKC北海道会強化プロジェクト企画 第2回「Next Stage Program」研修開催報告

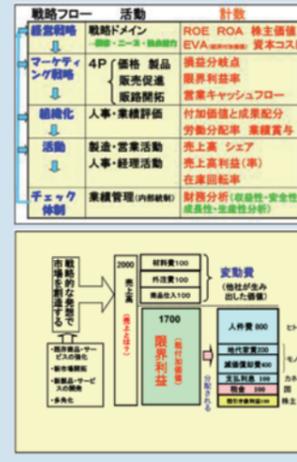
TKC北海道会強化プロジェクトでは、TKC入会4年以降の会員を対象とした全3回の特別研修「Next Stage Program」を、昨年続き今年も開催しました。第2回プログラムテーマは「経営助言」です。月刊誌「戦略経営者」に全15回連載いただいた千賀秀信さま（マネジメント能力開発研究所 代表）から、「経営者・管理者に必要な計数感覚」についてご講義いただきました。

日時：11月6日（木）13:30～17:30
会場：TKC北海道会研修センター
講師：千賀秀信さま マネジメント能力開発研究所 代表
<http://keisumaneji.la.coocan.jp/>
**内容：経営者・管理者に必要な計数感覚
～付加価値経営を実践するための考え方～**



講師：千賀秀信さま

戦略経営者 知って役立つ計数感覚のツボ
 計数感覚を磨いて、付加価値経営を実践しよう！



全15回の連載から要点を解説いただきました！

- 計数感覚とは、「経営のことを数字で考える能力」をいいます。計数感覚を磨くことで、企業活動が会社の数字にどのように影響するのか、理解できるようになります。
- 会社の数字を分析するために重要な3つのキーワードは、①利益(率)、②キャッシュフロー、③付加価値、です。TKCシステムでこれらの数字が確認できます。巡回監査時に経営者と数字で会話できていますか？
- TKCシステムでは「変動損益計算書」が確認できます。経営者には「限界利益は付加価値である」ことを説明し、限界利益を高めるためどうするか、考えてもらうことが大切です。
- 顧客は、手間(固定費)を理解すると付加価値を認め、価格が高くても購入します。つまり、接客(人件費)、立地(賃借料)、設備(減価償却費)など、背景にある固定費を顧客に感じさせることが大切です。付加価値経営は、このようにして実現できます。
- 付加価値は、人件費と利益で構成されます。国全体で見れば、GDP(国内総生産)になります！中小企業の良き相談相手である税理士の活躍に期待しています！



アンケート集計：大変良かった93.3%、良かった6.7%
 受講会員の決意：変動PLの考え方の普及、営業利益と営業CFの指導を実践します。付加価値に重きを置いて、計数感覚を養うよう経営者をサポートします。

第3回 NSP研修企画
 日時：令和7年1月16日（木）15:00～17:00
 内容：ON税理士法人見学会（年度重要テーマ研修2024 札幌会場講師）

令和6年 書面添付実践件数 (令和6年11月末日現在)

令和6年 書面添付実践件数 (令和6年11月末日現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
1	札幌東支部	五十嵐勝義	92	4	6	2	6	15	7	9	10	7	10	8	84
2		市川 善明	49	3	10	4	5	11	3	3	2	4	3	3	51
3		岩崎 新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		岩田 圭史	46	1	7	9	4	11	1	4	3	6	4	6	56
5		大林 慎一	5	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2	5
6		加藤恵一郎	211	4	40	34	21	38	14	8	14	13	7	12	205
7		金子 雅行	8	0	1	0	1	1	1	1	0	2	1	0	8
8		金坂 和正	13	0	2	3	0	2	1	1	3	0	0	1	13
9		川股 修二	168	9	15	8	21	21	16	18	14	12	13	17	164
10		小平 康夫	46	0	4	4	4	8	4	2	5	3	3	4	41
11		斎藤 雅昭	11	0	1	0	0	5	2	0	1	0	0	1	10
12		坂本 文彦	8	0	3	0	0	6	0	0	1	1	0	0	11
13		佐々木忠則	225	6	24	43	17	36	18	14	19	8	10	17	212
14		佐々木俊彦	12	1	2	1	2	1	0	1	2	1	1	1	13
15		佐々木幸徳	34	0	2	1	6	8	0	4	1	2	3	3	30
16		佐藤 俊一	13	0	3	1	0	2	0	1	2	1	0	1	11
17		佐藤 孝尚	19	1	2	2	0	5	2	0	1	0	3	2	18
18		佐藤 伸泰	63	1	6	14	3	15	4	5	6	0	5	2	61
19		下坂 登	7	0	6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7
20		清宮 純	88	1	9	5	6	17	7	4	6	4	9	10	78
21		高野 真人	10	1	0	0	0	2	1	2	2	0	0	0	8
22		田中 慎也	5	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	4
23		谷口 和雅	26	1	3	4	0	8	2	2	4	0	1	1	26
24		千葉 寛樹	82	3	17	7	5	18	4	3	4	6	2	6	75
25		出口 秀樹	57	3	5	4	4	23	2	5	4	4	2	6	62
26		寺田 勉	80	1	14	13	6	13	9	2	2	11	3	10	84
27		中川 一俊	54	0	8	3	9	15	1	1	5	2	2	7	53
28		中川 信喜	60	3	6	8	4	8	6	5	3	4	4	6	57
29		名越 隆雄	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
30		鳴海 敏郎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
31		西野尾嘉拓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
32		能登 康広	9	0	1	0	1	0	2	0	1	1	2	0	8
33		廣瀬 見典	26	0	5	1	1	5	4	2	4	2	2	2	28
34		藤田 時人	57	4	5	4	7	6	5	4	5	5	3	1	49
35		藤谷 満雄	18	0	2	2	1	2	2	0	2	1	1	2	15
36		藤本 康男	4	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	4
37		本間 崇	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
38		本間 貴久	145	1	21	20	15	32	5	5	9	13	10	13	144
39		松本 隆臣	66	2	9	6	3	11	7	1	7	4	4	9	63
40		丸山 昭一	29	1	6	1	4	4	1	2	1	1	3	3	27

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
41	札幌東支部	南 優香	39	2	9	3	4	8	1	3	4	1	3	4	42
42		宮下 直樹	242	8	57	39	13	31	7	20	12	11	16	37	251
43		宮本 信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
44		森下 浩	17	0	4	4	2	1	0	2	0	1	0	4	18
45		山美 幹生	51	3	5	4	7	15	2	3	5	2	4	3	53
46		横山 知明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47		吉川 直宏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48		米澤 篤志	13	0	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	6
49		阿部 真澄	64	0	1	0	1	11	5	1	4	5	7	5	40
50		池脇 竜太	91	1	10	10	8	15	9	5	4	12	8	6	88
51	札幌西支部	石川 透	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
52		石川 由男	44	0	12	1	1	9	1	2	2	5	2	5	40
53		伊東 幹世	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
54		上原 貢	11	0	2	1	2	1	2	0	2	0	0	1	11
55		大沼 宏	6	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	6
56		岡崎 克明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57		岡崎 正毅	11	0	0	5	1	0	0	1	1	0	0	1	9
58		小川 裕也	11	1	1	1	1	4	1	1	0	1	0	1	12
59		川端 忠範	12	0	1	0	1	3	2	0	1	0	3	0	11
60		國分 敬祐	5	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	3	6
61	札幌西支部	小中 昌幸	93	2	10	23	6	27	8	4	5	13	12	9	119
62		小林 康弘	23	0	2	2	5	6	2	1	1	3	1	1	24
63		近藤 勝美	4	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	1	4
64		鈴江 誠	48	0	5	7	5	12	2	1	7	3	0	2	44
65		高野 一夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66		田中 裕之	147	1	19	13	9	41	5	9	13	10	8	10	138
67		藤堂 愛子	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
68		外館 英樹	16	2	2	3	0	3	0	3	1	1	1	5	21
69		中川 雄介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70		中田 浩貴	27	0	2	5	1	1	2	1	6	3	0	0	21
71	札幌西支部	長田 幸雄	22	0	2	1	0	3	1	1	1	1	3	3	16
72		八森 恵一	8	0	0	0	0	4	2	1	1	0	1	1	10
73		平田 清悦	32	0	10	6	3	6	1	1	3	1	2	4	37
74		堀内鶴次郎	21	0	3	0	1	4	1	2	1	1	1	3	17
75		三上 香織	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
76		村西 逸郎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
77		森下 敏美	12	0	2	3	0	3	0	3	0	0	0	1	12
78		柳橋 琢磨	14	2	4	0	1	2	1	0	2	2	0	1	15
79		八島 依子	22	0	2	5	1	5	3	0	1	4	1	1	23
80		山田めぐみ	6	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	3

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和5年実績	令和6年実績											
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計
81	札幌西支部	山谷 謙太	267	14	25	22	30	52	15	21	25	14	13	18	249
82		湯澤 武憲	13	0	0	1	2	1	0	0	2	0	3	2	11
83		吉田 淳	4	0	0	0	0	6	1	4	0	0	0	0	11
84		吉田 幸広	204	6	30	24	10	33	16	15	16	9	13	22	194
85	小樽支部	足立 竹秀	9	0	1	1	0	1	0	0	2	0	2	0	7
86		澤田 忠宏	46	5	6	2	1	7	4	5	3	2	2	0	37
87		戸井 三雄	89	1	9	15	2	26	8	4	0	11	10	0	86
88		西 正則	12	0	1	1	1	2	1	2	0	2	2	0	12
89	函館支部	奥山 昌弘	20	0	2	4	2	1	2	2	1	1	2	2	19
90		後閑 慶子	7	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
91		佐々木盛一	39	4	4	4	3	7	1	4	1	3	3	0	34
92		田村 維之	7	0	1	2	0	2	0	1	0	0	1	0	7
93	空知支部	千田 浩文	6	0	0	0	0	3	0	1	0	2	0	0	6
94		西谷 裕幸	17	0	1	0	1	0	0	4	2	2	3	4	17
95		蛭子井眞市	34	2	1	0	3	9	0	3	6	2	2	5	33
96		細川 拓厚	37	0	3	8	2	11	4	0	3	3	2	1	37
97	旭川支部	松山 高治	18	1	5	1	2	1	2	2	1	1	1	1	18
98		大林 強	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
99		木村 聡	83	2	13	4	3	26	3	5	8	3	7	8	82
100		斎藤恵美子	40	0	5	3	3	11	4	5	3	1	0	1	36
101	北見支部	坂本 健人	142	2	31	15	7	35	8	10	7	3	3	6	127
102		八幡 吉昭	21	0	5	3	2	5	2	2	0	2	1	1	23
103		山田 和訓	96	8	19	11	6	21	2	5	7	8	5	3	95
104		薄井タカ子	25	1	4	8	0	5	1	1	2	0	1	2	25
105	北見支部	蝦名 朗太	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3	
106		尾田 利雄	55	1	13	3	3	14	4	4	5	3	3	2	55
107		加藤 一博	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
108		金谷 博光	135	2	22	24	10	36	11	6	10	4	6	7	138
109	北見支部	熊谷 益夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
110		小島 拓也	6	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	1	5
111		高橋 慎吾	92	2	16	7	6	23	6	9	10	3	5	5	92
112		田村 栄章	45	1	15	0	1	14	5	3	2	0	5	6	52



感謝とお礼 お世話になった北海道会の 会員の皆さま、職員の皆さまへ

名古屋SCGサービスセンター センター長代理 安澤 和徳

株式会社TKCの安澤和徳(アンザワ カズノリ)と申します。2009年4月に入社、北海道センター配属後は札幌・帯広・旭川の3センターで6年半勤務し、現在は名古屋でセンター長代理を務めています。社歴も16年目となりました。当時お世話になりました北海道会の会員の皆さま、事務所の皆さまにお礼の気持ちを込めて寄稿させていただきます。

1.ある職員からの声

「『安澤さんに質問して鍛えてあげて』と所長に言われたから質問しているのに、何も役に立たない。正直いらぬ」。入社して2年目になる頃、当時の担当事務所の職員さんから言われました。もう臆気な記憶ですが、当時は相応に堪えた記憶があります。センターに戻れば体育会系の先輩方から日々情熱的なご指導をいただき、「もう無理だな」と「もう少し頑張るか」を繰り返しながら目の前の仕事に臨んでおりました。

2.転機 -T事務所での2年間-

3年目、先輩の転勤に際して釧路支部のT事務所を担当させていただきました。

当時は先輩が転勤直前に自計化推進会議の定期開催をご提案し、お伺いしやすい状況での担当交代でした。気付けば「(朝)事務所に伺って所長に予定報告、(午前)職員と打合せの後関与先へ提案訪問。(お昼)事務所に戻って所長に報告。(午後)別の関与先へ訪問して提案。(夕方)事務所に戻って所長に報告」というスケジュールを多い時には週に2~3日、T事務所ですごすようになっていました。職員の皆さまにも「いつもうちにいるよね」と仰っていただき、とても良くしていただきました。



日本で最初に電子申告されたTKC中部会 渡邊賢道会員(写真右)と

担当開始から2年後、転勤する際には所長に釧路の街を描いた絵をいただき、「今までの担当で一番良かった」と仰っていただいたことを今でも覚えています。

当時の自分は知識も経験もなく、一生懸命仕事に臨む以外何も役には立っていませんでした。それでも良くしていただいたことを思い出すと、今でも感謝で涙が止まらなくなります。

「何もかもが上手くいかない時でも、一生懸命やっていたら見てくださる方はいる」と帯広センターでの5年間で学ばせていただきました。同経験を踏まえ、現在は「何か一つでも良いから『この仕事をしていて悪くないな』と思う経験をしてほしい。一生懸命やっていたら必ず見ている人はいる。どんな仕事に臨む上でもあなたの糧になるはず」と部下には伝えていきます。当時の私が良くしていただいたお礼を、部下と共に現在担当させていただいている会員の皆さま、事務所の皆さまにお返ししたいと思いますと考えております。

感謝の気持ちをお伝えする機会をいただき、ありがとうございました。北海道会の会員の皆さま、事務所の皆さまのご健勝とご発展を祈念しております。

シローちゃんの支部例会に行ってみた

第8回
札幌東
支部編

祝 バッジ会員
次はマスターズ
苫小牧支部
小林 史郎

前回の「かいほう」(257号)
9ページバッジ会員一覽より

令和6年「TKC全国会」	
TKC全国会	4,750名(内、法人社員等特別会員 1,454名)
北海道会	186名(内、法人社員等特別会員 49名)
札幌支部	44名
苫小牧支部	45名
小樽支部	46名

お久しぶりです。広報委員の小林史郎です。私の「支部例会に行ってみた」、一部の方からご好評いただいていると聞いており、誠にありがとうございます。

今回は、まだ訪問していない支部の中から、私の代打を務めた谷口卓弥会員、懇親ゴルフ会にご参加いただいた市川善明支部長、南優香副支部長、岩田圭史副支部長、「エビゾー」と呼ばせていただくことを許していただいている坂本文彦広報委員長、そう、とても縁の深い札幌東支部への訪問となりました。

業務が多忙で、当日は例会からの取材予定で、午前中に新規のお客さまへのあいさつを済ませ、大急ぎで向かったものの間に合わず。すでに始まっており、途中参加となりました。せっかくの「書面添付プレミアムセミナー」の最初の部分を聴くことができなかつたのは残念でした。

さて、研修です。おっと、パソコンを持参でしたか。忘れてしまいました。そこはセンターでの開催。フォローばっちりです。さて本題、まだまだ初心者の私にとって、数々の事例を聞くことができ大変勉強になりました。さらに、デモデータを使った架空の決算書や別表を基に、グループごとに書面添付の実際の記載方法を検討しました。

それを今度は発表です。遠方から来たということで、旭川支部の神田将吾会員と私が発表させていただくことになりました。勉強になりました。

今回の書面添付プレミアムセミナーは、税務署を退官された黒田納規会員による「税務署から見た書面添付」のお話や、三菱UFJ銀行の稗田さまによる「融資の決定における金融機関からの視点」のアドバイスがあり、大変有意義な研修となりました。

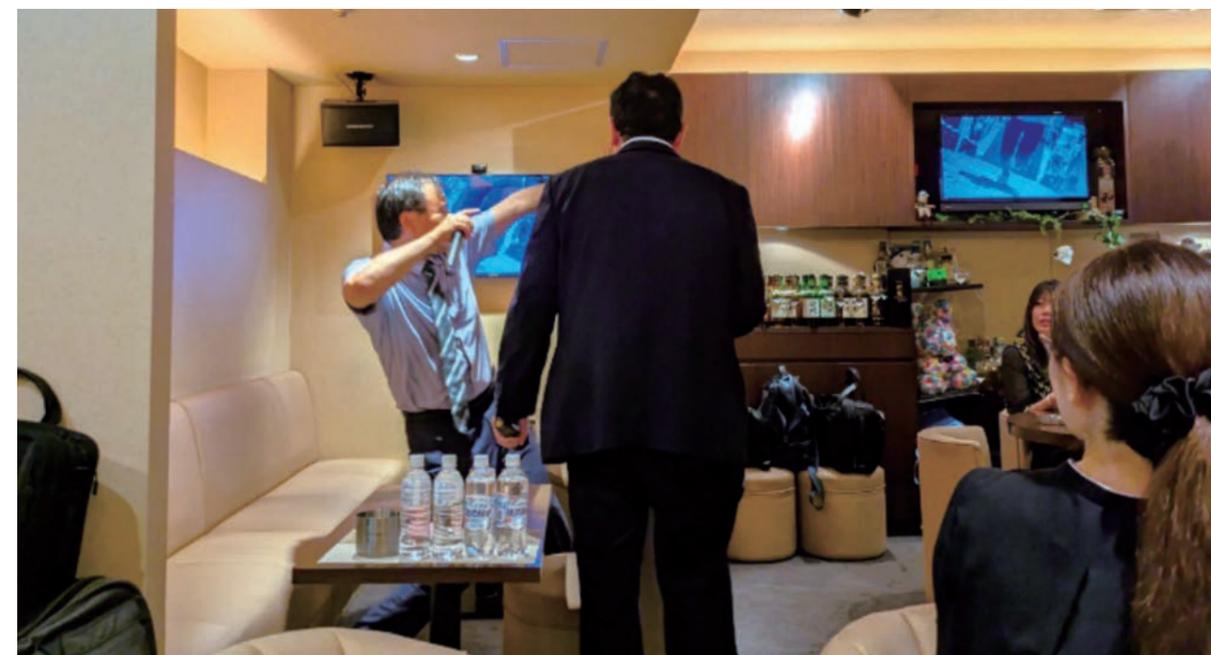
研修が終了し、16時30分からは札幌東支部例会が佐藤博嗣会員の司会で開催されました。出席者は本間貴久会長、砂原政広副会長、大同生命保険株式会社から下村利文支社長、大和ハウス工業株式会社から阿久根正成さん、松岡嶺さん、水戸晶子さん、TKC北海道サービスセンターから新垣全センター長のほか、札幌東支部の会員の皆さんがいらっしゃいました。苫小牧支部からは私1人でしたが、見慣れた面々で、私は気楽に参加することができました。皆さんには違和感があつたかも。



例会は支部長あいさつから始まり、砂原副会長のあいさつ、各委員会からの報告、提携・協定企業からの報告などが滞りなく進行了。その後、札幌東支部独自の催しでしょうか。「今日一言も発していない会員からの一言」があり、私もあいさつさせていただきました。そして、待ちに待った懇親会です。

懇親会は、大和ハウスの阿久根さんによる乾杯のあいさつでスタートしました。ニューメンバーズサービス委員会やシステム委員会で見知りの会員が多かったこと(会務もやるものです)もあり、いつもの雰囲気の中で楽しく過ごすことができました。呑むビールも格別でした。また、香川県で開催されるニューメンバーズフォーラムについて、苫小牧支部の未入会の税理士さんと一緒に参加したい旨を伝えたところ、未入会時も入会後も何度も参加している私には、「未入会の人だけでOKです」と丁寧に断りさせていただきました。そんな気分も、おいしい料理と楽しいお酒がすぐに癒してくれました。懇親会の盛り上がりが高潮に達したところで、大同生命の下村支社長による中締めが行われました。

その後、二次会の会場へ移動。本日講師を務められた黒田会員の行きつけのお店にてさらに盛り上がり、私の「史郎ハラ」(笑)が炸裂です。が、市川支部長とカラオケを熱唱。強烈です。札幌東支部の会員の方々の個性が非常に強く、その雰囲気飲み込まれてしまう場面もたびたび。次回、札幌東支部の例会に参加する際は、負けません。頑張りたいと思いますので、温かく見守っていただければ幸いです(笑)。



その後、勢いは止まることなく三次会へと突入しました。三次会の会場である「中華食 いそつー」では、締めのラーメンやフカヒレをみんなで堪能し、さらにビールを飲んで盛り上がりました。三次会が終了したときには、強制送還(笑)となり、なんとかホテルにたどり着いたらしく、気づけば朝になっていました。

今回の札幌東支部訪問では、支部の皆さまに終始温かく見守っていただき、心から感謝しております。盛り上がり過ぎた私に最後までお付き合いいただき、本当にありがとうございました。また、まだ取材に伺っていない支部の皆さまや、再取材を希望して下さる支部の皆さまからのリクエストもお待ちしております。

次回、札幌東支部で例会が行われる際は、札幌や北広島で親睦ゴルフ大会を開催して下さるとの期待を胸に、秋季大学の親睦ゴルフ大会で惜しくも接戦で敗れた宮下直樹総務委員長へのリベンジを果たすべく、朝から気合を入れて臨みたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。



北海道会 会務動向

令和6年
11月

日	行事名
5	北医研研修会
5	空知支部例会
6	NSP研修会
7	NM共済研修会
7	苫小牧支部例会
8	旭川支部例会
8	秋季大学実行委員会
11	リスクマネジメント制度推進委員会 東京海上部会
13	資産対策研究会
14	共済研修「小規模企業共済（制度編）」
18	年度重要テーマ研修（帯広）
18	帯広支部例会
18	共済研修「小規模企業共済（手続編）」
19	年度重要テーマ研修（旭川）
20	農業経営研究会研修会
25	システム委員会
26	書面添付推進委員会
28	原点の会（会員）
28	釧路支部例会
29	原点の会（職員）
29	北見支部例会
3	租税判例研究会
4	小樽支部例会
5	年度重要テーマ研修（札幌）
5	札幌西支部例会
5	函館支部例会
6	広報委員会
9	ニューメンバーズ・サービス委員会
13	正副会長会
17	理事会
20	広報委員会

令和6年
12月

新入会員の紹介 NEW MEMBER

ほそだ かず はる
細田 一晴（旭川支部）

令和6年8月入会

事務所住所

〒070-0037
旭川市7条通6丁目2428番地

細田一晴税理士事務所

プロフィール

- 出身地 / 旭川市
- 前職 / 税理士事務所
- 趣味特技 / 日本拳法（二段です）、ドライブ（シビックタイプRに乗ってます）
- 夢・ひとこと / まだまだ分からないことが分からないといった状態ですが、これから成長し、会に貢献できるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



みや こし ゆう た
宮腰 雄太（札幌西支部）

令和6年8月入会

事務所住所

〒060-0042
札幌市中央区大通西16丁目3-6
16 802号室 アルファスクエア

宮腰雄太税理士事務所

プロフィール

- 出身地 / 豊富町
- 前職 / 税理士事務所
- 趣味特技 / 読書とスポーツ観戦
- 夢・ひとこと / この度、入会させていただきました税理士の宮腰と申します。学びと交流を深め、貢献できるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いたします。



編集後記

羊ヶ丘のふもとから〇〇を叫ぶー編集後記に代えてー

editor's note

あけましておめでとうございます。今年も変わらないお付き合いどうぞよろしくお願いたします。

〇ふたつのカミ物語

複式簿記をやっていると夢がない。500円玉貯金の意味のなさをつくづくと感じる。増えた収入でもなく、減らした経費でもなく、単なる現金から他の資産への移動。それは消費税の納税貯金とて同じ。赤字になれば、取り崩す。仮受消費税に手を付ける。そして納期限になれば、納税資金がないと嘆く。そして、この世にはカミ（神）はいないのかと、こんなに苦しいのに何でこんな消費税なんだと。そう、国が悪いんじゃないよ。赤字のせいさ。そして、誰のせい。

領収証はカミ（紙）だけどカミ（神）ではない。経費なんて領収証があればいいんでしょ、という。何でもかんでも、経費にしたがる。税金を払うくらいなら、使ってしまったと思っっている人がいる。払ったって残るのだよと言っても、通用しないこともある。経費とするには事実が大事でしょ。その事業にどう関係あるの？それ。そんなに無駄遣いしたら商売のカミ（神）に見放されるよ。もうカミ（紙）じゃないか。

〇月次決算に基づくMIS、その正確性を担保する遡及訂正できないシステム

TKCじゃなくなっって毎月訪問しているんだ、と言われた。訂正仕訳のことも言われた。マイナスの仕訳が、どうもうざったいとのこと。自分も、昔も今も他社システムで自計しているところのお付き合いはあるが、残高がおやっと思うことがあり、確認してみると訂正、追加などなど。と思うと、ほかの勘定科目が気になる。えっ、先月まで毎月お邪魔して、いろいろ確認した時間は何だったの。遡及訂正されるということの腹のすわりの悪いこと、この上ない。遡及訂正できないシステム、今後もお付き合い願いたい。

（広報委員長 坂本 文彦）